

# TOTO

**施工説明書**

## 洗面化粧台・化粧鏡・ウォールキャビネット

### 座・ドレッサーシリーズ

---

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。  
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



---

#### も く じ



安全上の注意 .....	2・3
工事寸法 .....	4
部品明細 .....	5・6
設置上の注意 .....	6
取付前の準備 .....	6
電気工事 .....	7
使用条件 .....	7
施工のながれ .....	8
取付手順 .....	9～37
取付完了後の確認と清掃 .....	38

# 安全上の注意


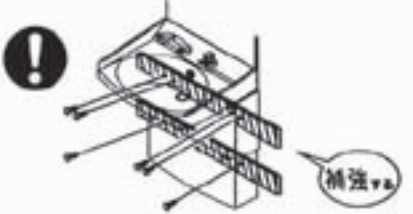

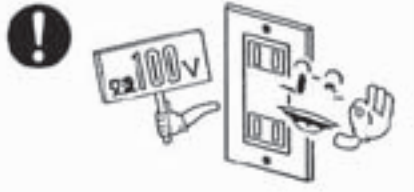
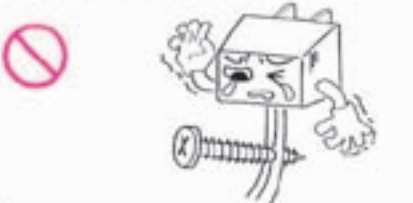


- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


	この記号は、してはいけない「禁止」内容です。
	この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

- 本体に付属されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

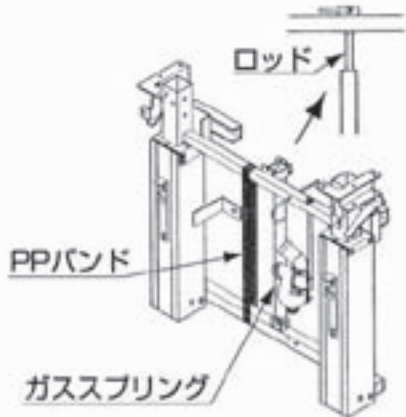
 <b>警告</b>		
壁固定ねじ取付位置に棧を入れて補強する	電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者」が行う	交流100Vを使用する
キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。 	火災や感電及び漏水の原因になります。 	交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。 
電源コードを傷つけない	浴室など湿気の多い場所へ設置しない	使用地域の周波数にあわせる
電源コードを傷つけると漏電及び火災のおそれがあります。 	漏電により感電するおそれがあります。 	60Hz用器具を50Hz地区で使用すると火災の原因になります。 ※ただし、インバーター式は周波数切替えスイッチはありません。(切替え不要) 

 <b>注意</b>		
湯・水を逆に配管しない	工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認する	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。 	漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。 	凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。 

## ⚠ 注意

<p>昇降装置のエッジに注意して作業を行う</p>	<p>昇降装置のPPバンドは、壁固定時まではずさない</p>	<p>昇降装置や鏡の動きに注意する</p>
<p>❗ けがの原因になります。</p> 	<p>誤動作によりガススプリングが作動した場合、けがをするおそれがあります。</p> 	<p>❗ 手などはさみ、けがをするおそれがあります。</p> 
<p>洗面器の上に乗らない</p>	<p>工事完了後、洗面器の固定・配管カバーの固定・キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認する</p>	
<p>故障及び転落・転倒してけがの原因になります。</p> 	<p>❗ 使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。</p> 	

## その他の注意

<p>ガススプリングは絶対に、分解しない。 圧縮された窒素ガスが封入されていますので、分解することは非常に危険です。</p>	<p style="text-align: center;">昇降装置本体詳細</p> 
<p>ガススプリングからオイル、またはガス漏れが発生した場合、施工を中止する。 オイルが漏れたとき、ガス反力が高くなり非常に危険です。</p>	
<p>ガススプリングのロッドに傷をつけない。 ロッドに傷をつけるとシールが損傷し、ガススプリング内のガスおよびオイルが漏れて、ガス反力低下の原因になります。</p>	
<p>注油しない。 ロッド部に注油するとシールを傷め、ガススプリング内のガスおよびオイルが漏れて、ガス反力低下の原因になります。又、支柱の内部にも注油しないでください。</p>	
<p>ガススプリングを持って運ばない。 変形の原因になります。</p>	

# 工事寸法

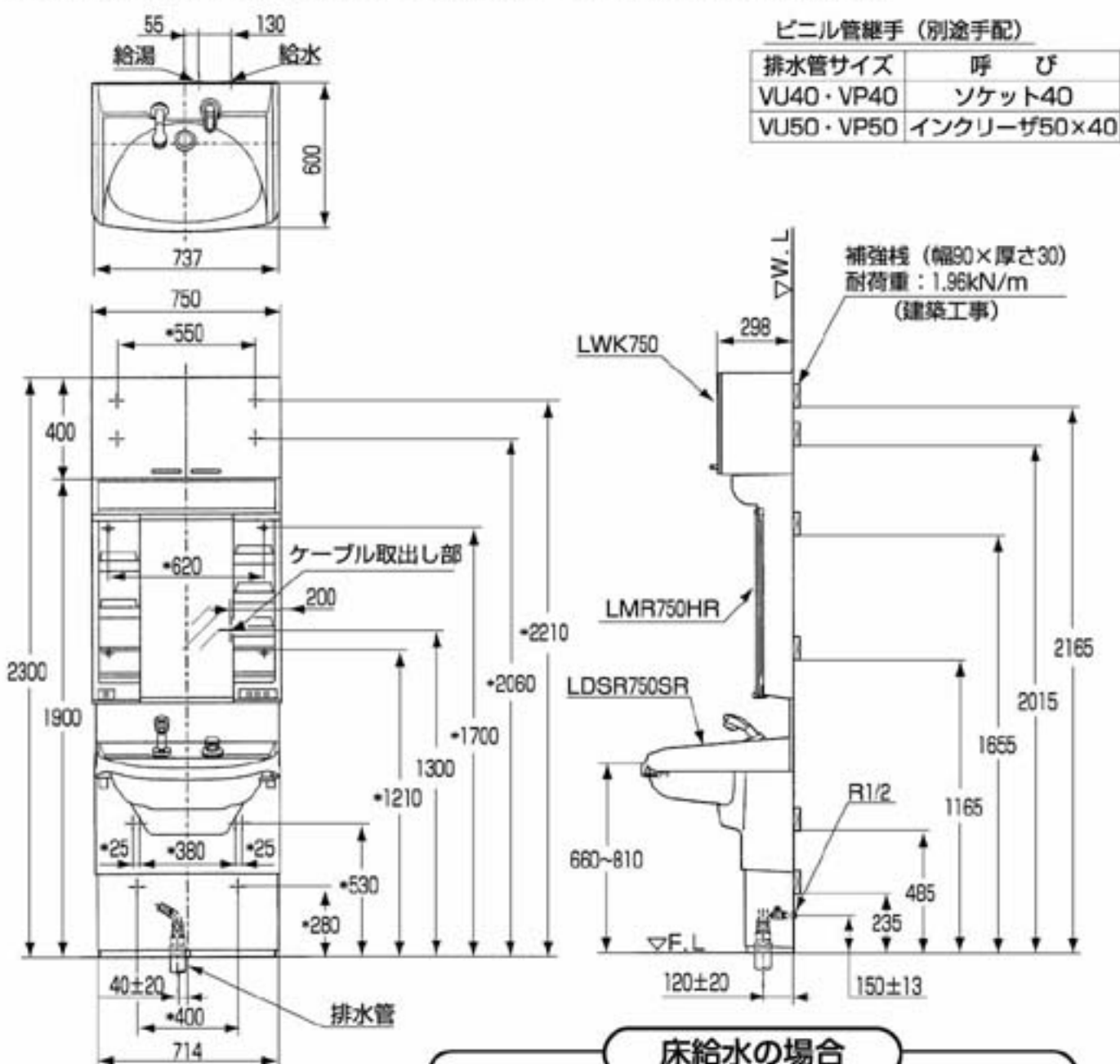
※特殊品の場合の工事寸法は承認図を確認してください。

※図はLDSR750SR(LDR750A+LDR750SR)+LMR750R+LWK750タイプです。その他の機種は、外観形状が異なります。

※\*は木ねじ位置です。

※排水管のサイズにより、右記のビニル管継手を別途手配してください。

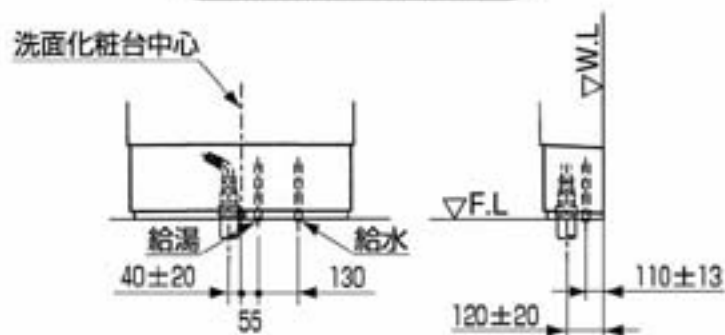
※化粧鏡の電源を直結配線される場合は下記の位置にケーブルを取出しておいてください。



ビニル管継手 (別途手配)

排水管サイズ	呼び
VU40・VP40	ソケット40
VU50・VP50	インクリーザ50×40


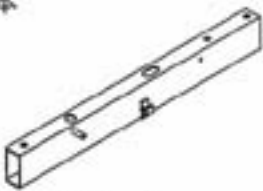








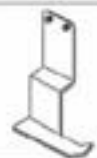

## 床給水の場合


















# 部品明細

## ☆梱包部品明細

### 昇降装置 LDR750A

昇降装置本体 1セット 	アーム (左) 1本 	アーム (右) 1本 	防水パネル取付板 (左) 1個 
防水パネル取付板 (右) 1個 	スペーサー 4枚 	位置決スペーサー (段ボール製) 1個 	小ねじ $\phi 4 \times 8 \dots 14$ 本 
壁固定用木ねじ $\phi 4.5 \times 35 \dots 6$ 本 	小ねじ $\phi 6 \times 60 \dots 4$ 本 	ホースガイド 1個 	組立てる  両面テープを内側

### 洗面化粧台 LDR750SR・TR

洗面器 1個 	配管カバー (上) 1個 	配管カバー (下) 1個 	防水トレイ 1個 
水受けトレイ 1個 	水受けトレイ取付具 1個 	水栓 (保証書付属) 1セット 	止水栓 2セット 
連結パイプ 1セット 	排水パイプ 1セット  排水配管用アダプタ	取扱説明書 1冊 	化粧ねじ 4本 
小ねじ $\phi 6 \times 60 \dots 2$ 本 	小ねじ $\phi 6 \times 10 \dots 2$ 本 	小ねじ $\phi 4 \times 8 \dots 6$ 本 	

## ☆付属部品明細

### 化粧鏡 LMR750・752

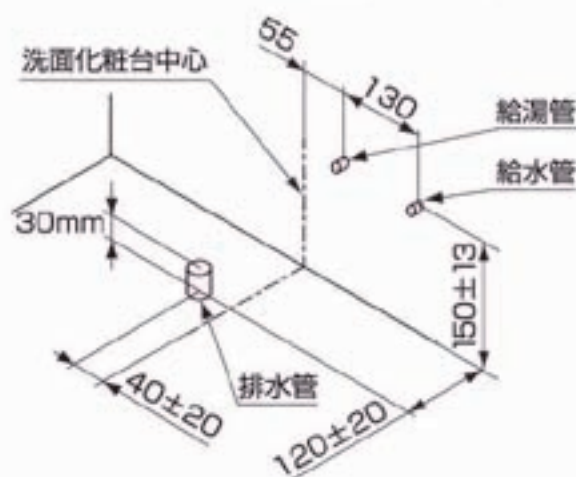
	名 称	数 量
1	防水パネル	1個
2	歯ブラシ立て	1セット
3	壁固定用木ねじ (φ4.5×50)	4本
4	パネル固定用ねじ (φ4×14)	4個
5	化粧キャップ	4個

### ウォールキャビネット LWK750

	名 称	数 量
1	棚受ダボ	4個
2	壁固定用木ねじ (φ4.5×50)	4本

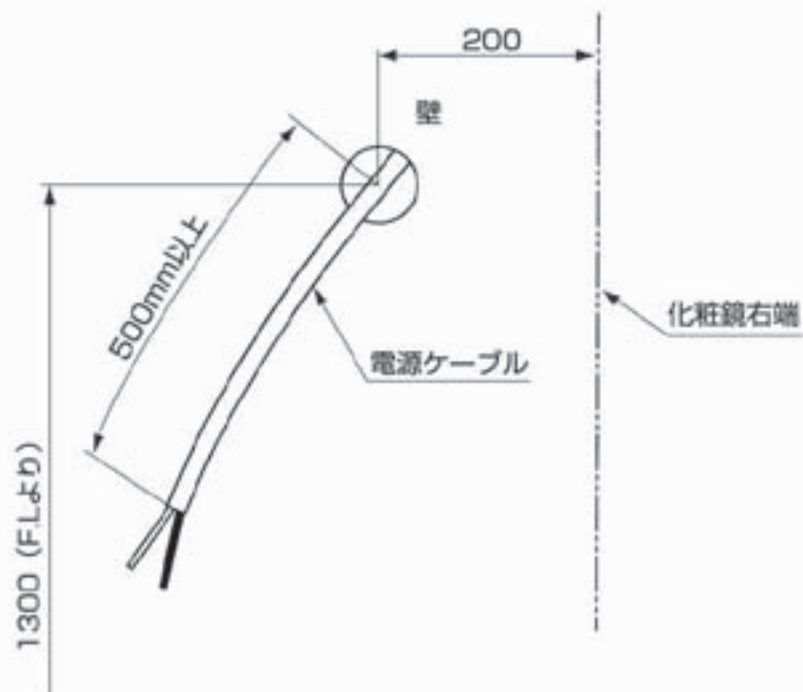
## 取付前の準備

- 壁側に周辺キャビネットが設置される場合は周辺キャビネットを先に設置してください。
- 昇降操作レバーの使用方向(左右)を必ず、お客様に確認してください。
- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に補強桟を入れてください。  
(補強桟を入れられない場合は、設置壁の前面に厚み30mm以上になるようJAS規格品の合板を強固に取付けてください。)
- 特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定ねじ取付位置には、壁面に補強桟を入れてください。
- 給水・給湯管を所定の位置に取出してください。  
(取出位置の指定公差をはずれると、昇降に支障をきたすことがあります。)
- 器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より30mm立上げてください。  
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。)



# 電気工事 (必ず電気工事店にて行ってください。) (化粧鏡を直結配線にする場合)

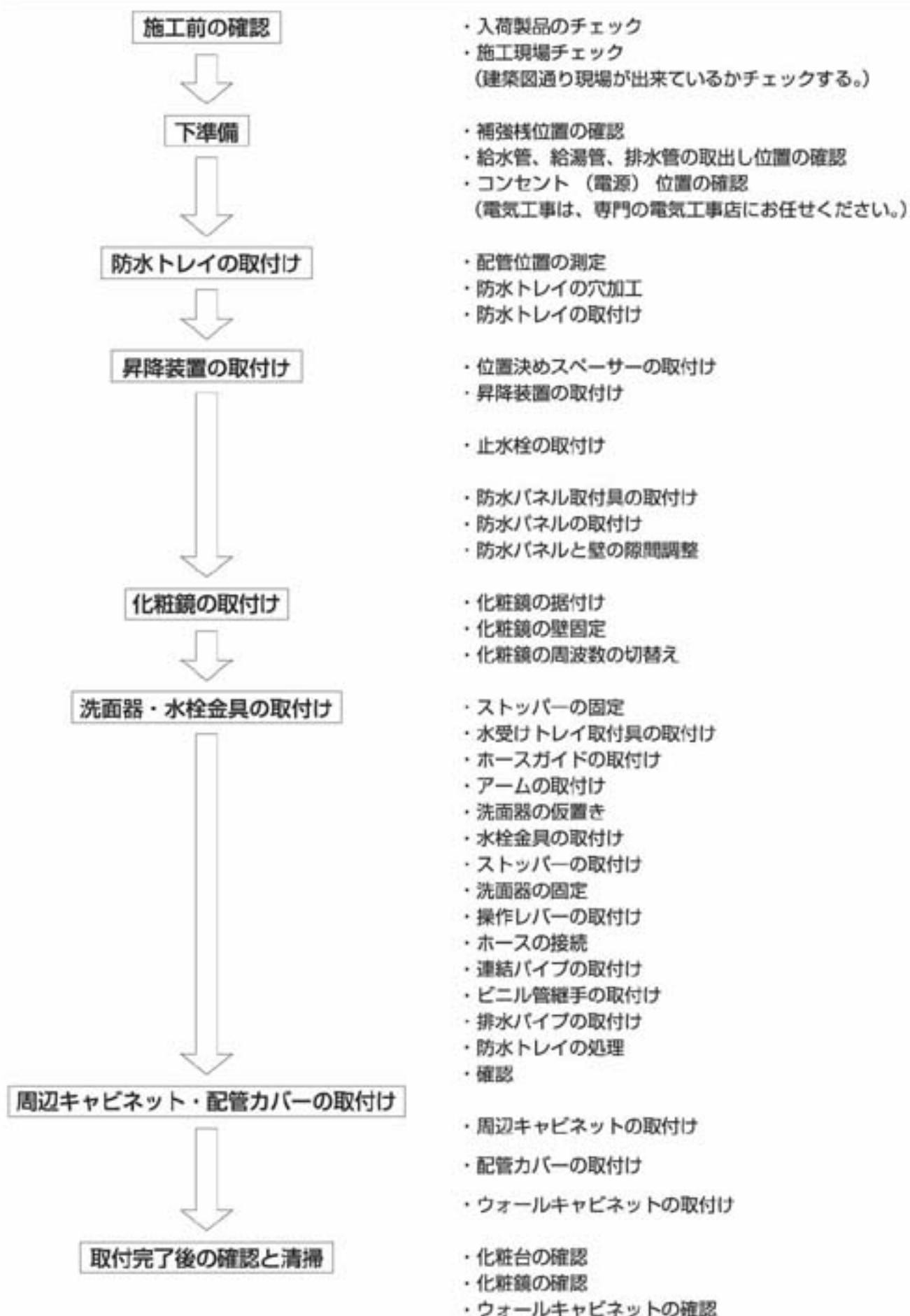
- あらかじめ電気工事店様にお願いして下図のように電源ケーブルを取出しておいてください。  
※取出位置は工事寸法を参照してください。



## 使用条件

- 水栓金具の使用条件は、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

# 施工のながれ





# 取付手順

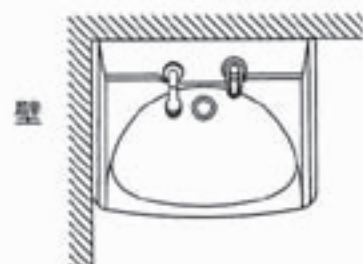
(必ず番号順に取付けてください)

## ① 防水トレイの穴加工

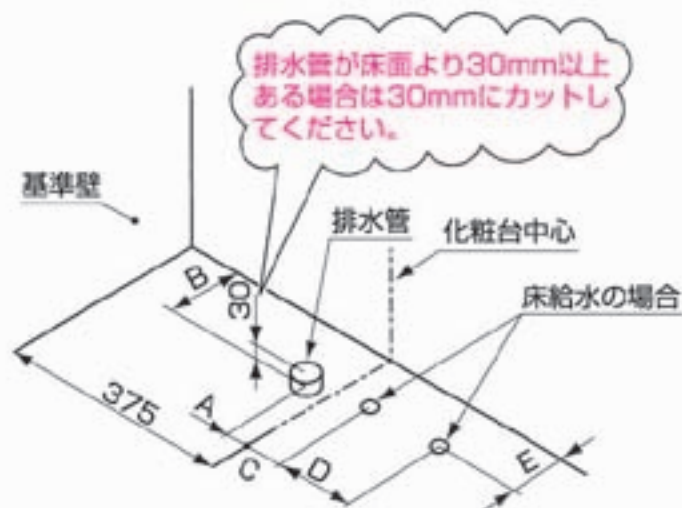
### 1 配管位置の測定

●化粧台中心をけがいてください。  
(下図は左基準の場合を示します。)

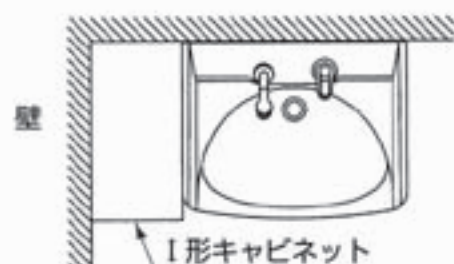
※横が直接壁の場合



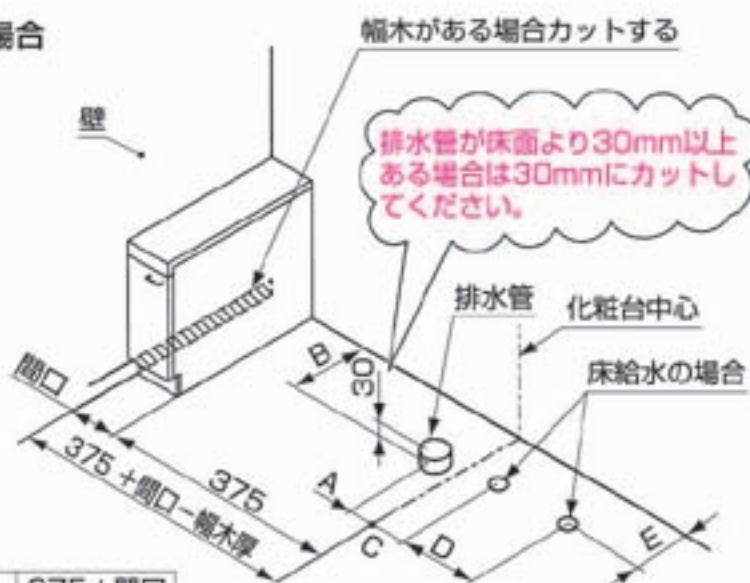
- ・壁給水の場合は、A・Bの寸法を測定してください。
- ・床給水の場合は、A～Eの寸法を測定してください。



※I形キャビネットが設置される場合



- ・壁給水の場合は、A・Bの寸法を測定してください。
- ・床給水の場合は、A～Eの寸法を測定してください。



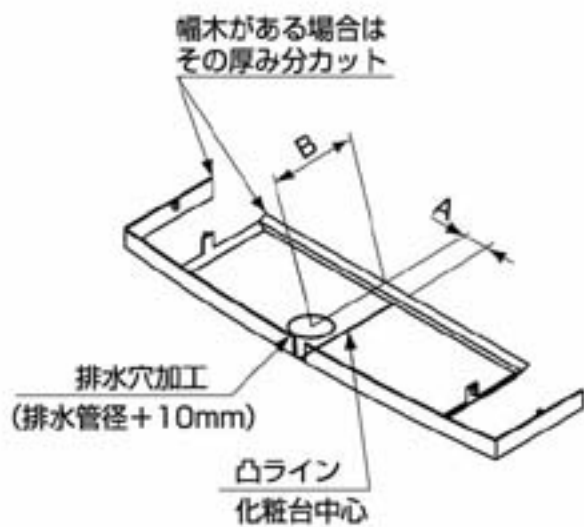
キャビネット寸法	375+間口
150	524
250	624
300	674
450	824

# ① 防水トレイの穴加工

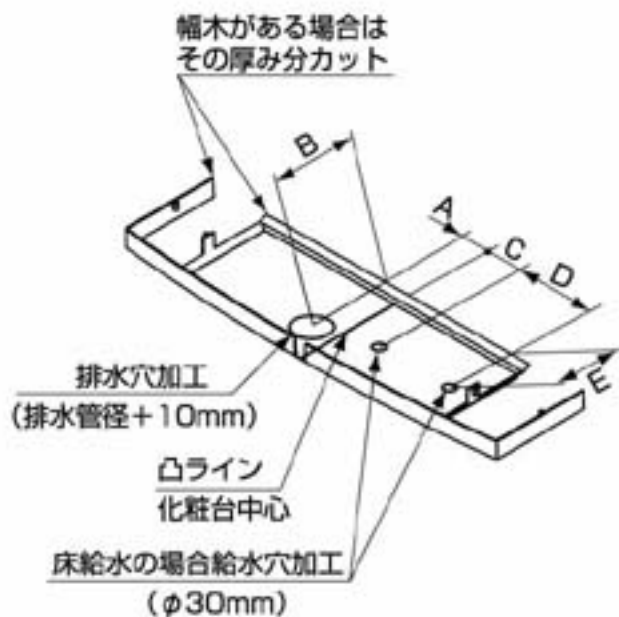
## ② 防水トレイの穴加工

(前図のA~Eの穴位置に合わせホルソーなどで穴をあけてください。)

### ● 壁給水の場合

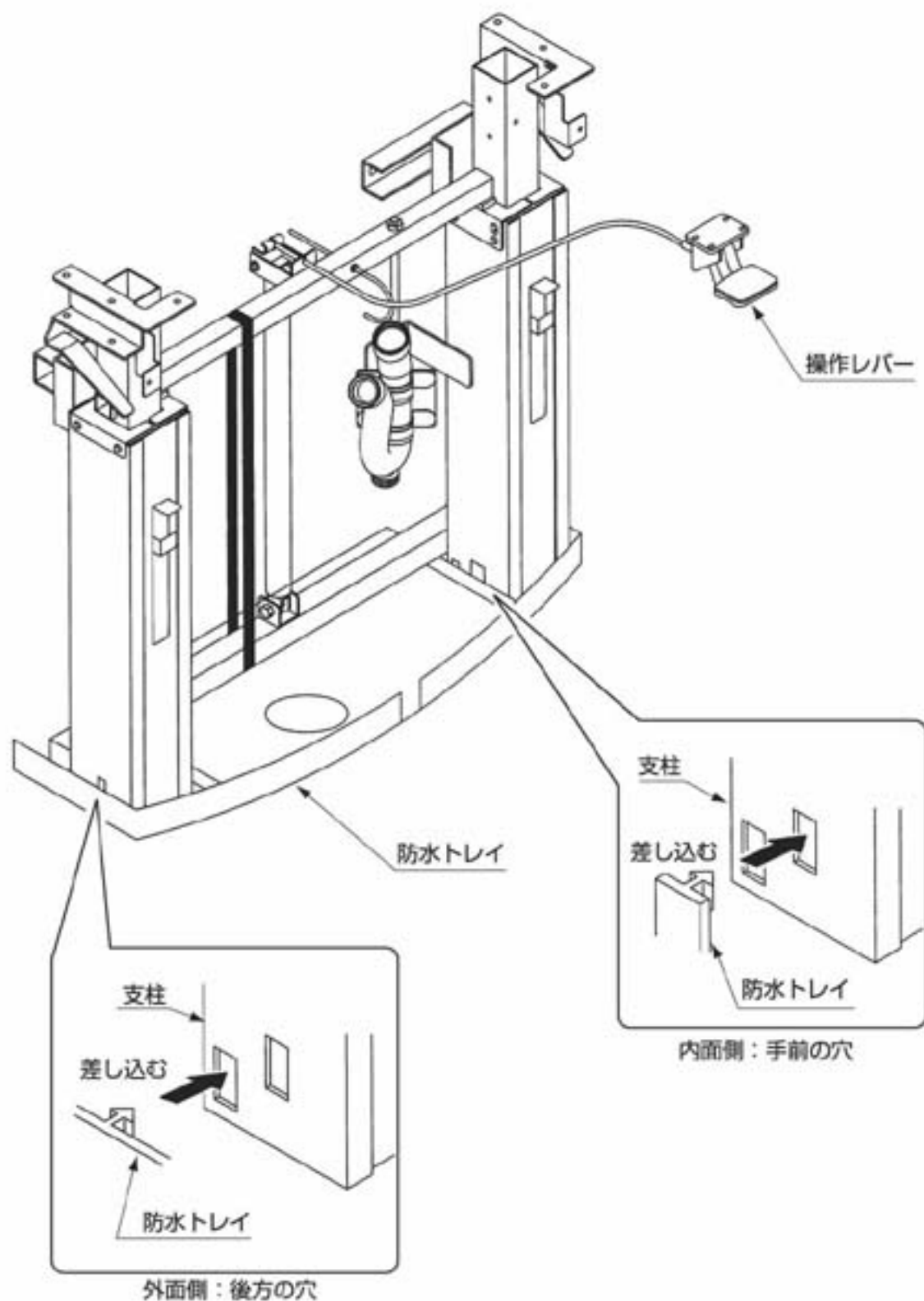


### ● 床給水の場合



## ②防水トレイの取付け

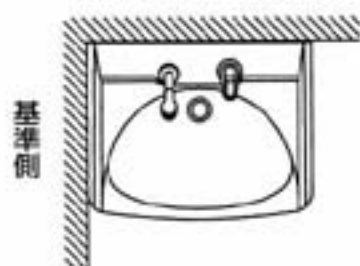
●操作レバーをはすし、支柱の角穴に防水トレイを取付けてください。



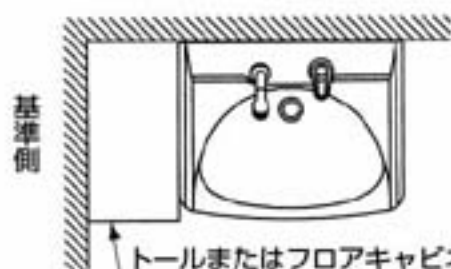
### ③位置決スペーサーの取付け

●取付基準側に壁又はキャビネットがくる場合は、テープのセパレータをはがし昇降装置に位置決スペーサーを取付けてください。

●左側が取付基準の場合



壁の場合



トールまたはフロアキャビネットの場合

組立要領

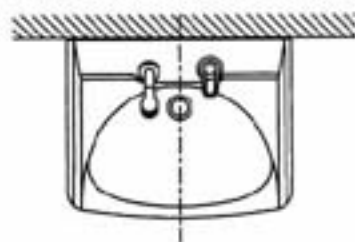


位置決スペーサー



セパレータをはがす

両側オープンの場合は、使用しません



両側オープンの場合

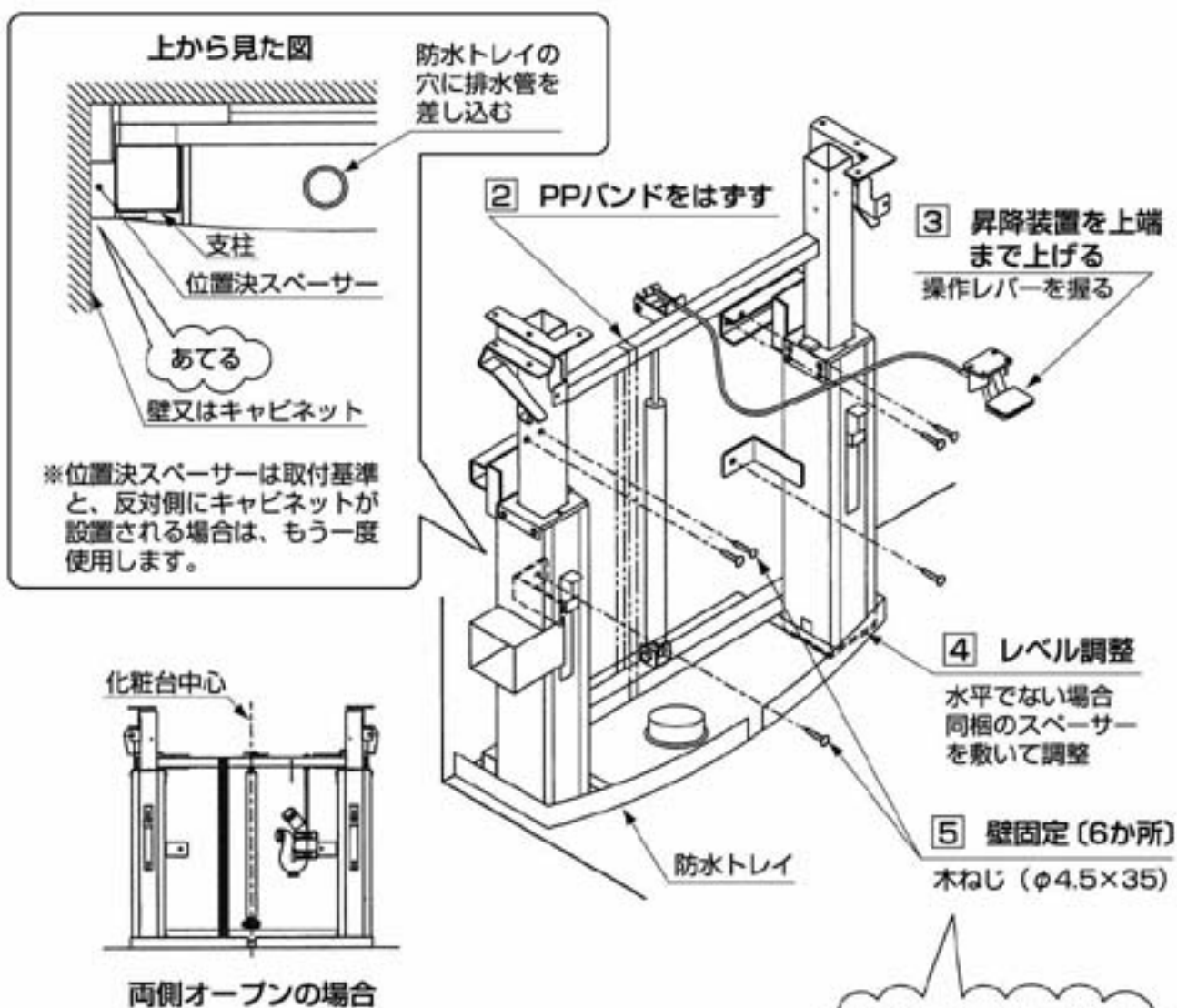
●右側が取付基準の場合

※右側に位置決スペーサーを取付けてください。

## ④昇降装置の取付け

●下図の番号順に取付けてください。

### ① 位置決め



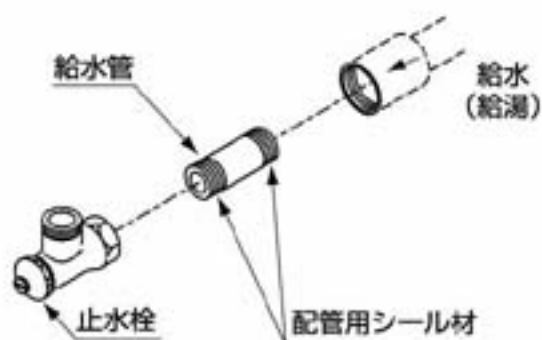
※排水管にねじなどを落すおそれがありますので、段ボールなどでふたをしておくことをおすすめします。

タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打ち込んでおいてください。

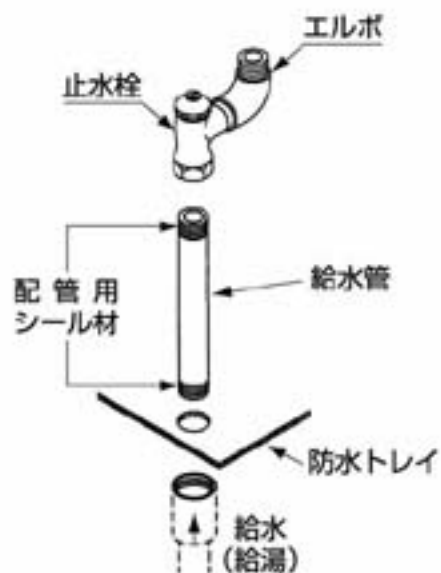
## ⑤ 止水栓の取付け

● 工具で確実に締付けてください。

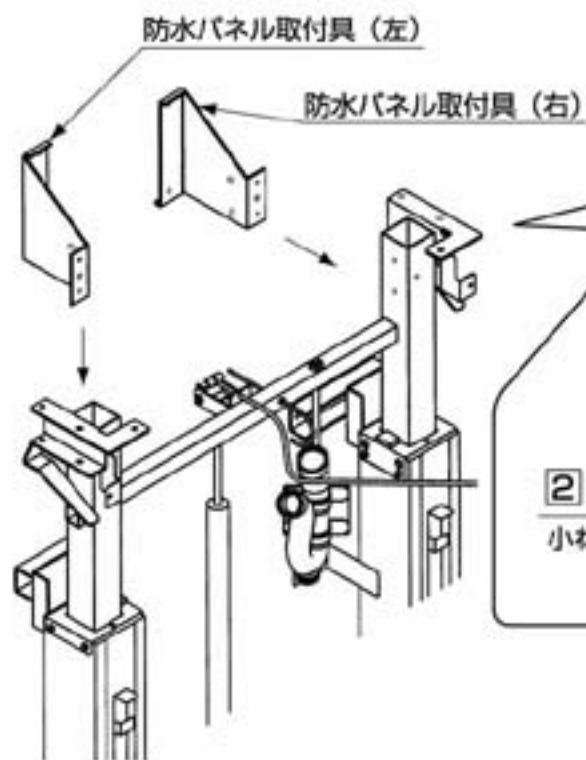
● 壁給水の場合



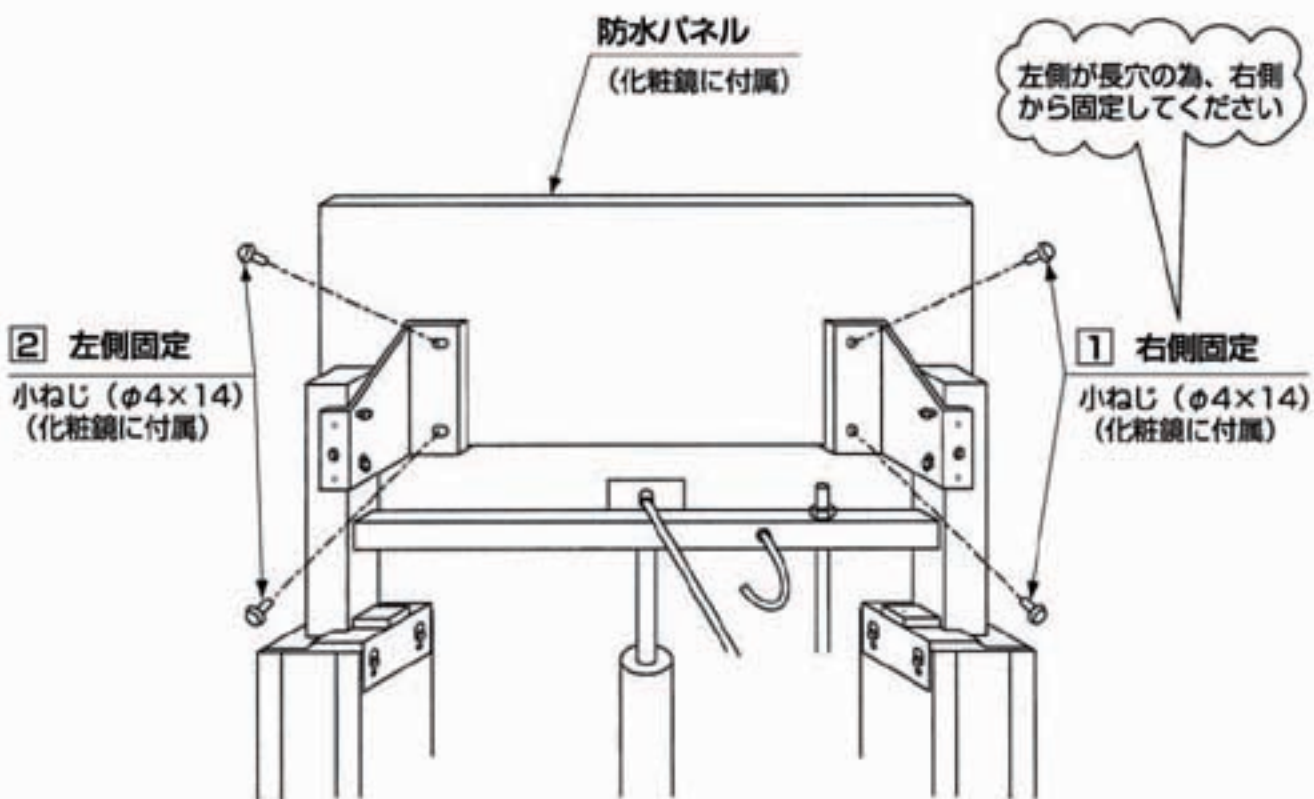
● 床給水の場合



## ⑥ 防水パネル取付具の取付け



## ⑦防水パネルの取付け



## ⑧ 防水パネルと壁の隙間調整

5~8mmない場合、壁や化粧鏡と防水パネルがあたるおそれがあります。

② 壁との隙間確認  
5~8mm

① 昇降装置を上端まで上げる

取付穴が上に出る

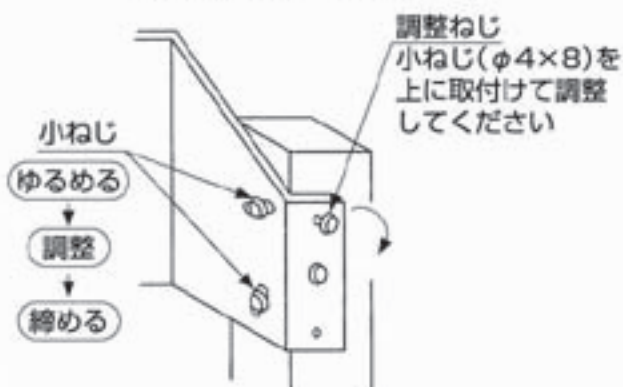
② 壁との隙間確認  
5~8mm

③ 調整ねじの取付け

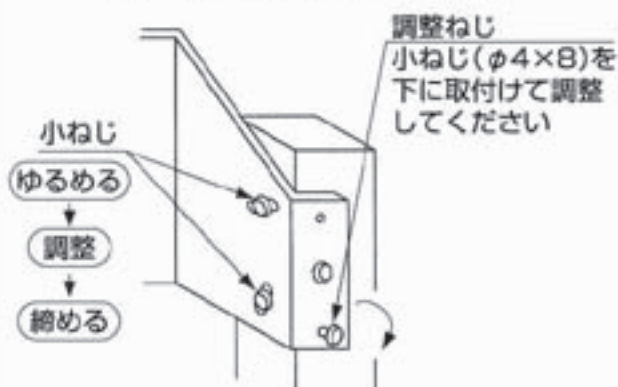
調整が不要の場合  
小ねじ(φ4×8)を手締めのこと

### ④ 調整方法

壁との隙間が5mm未満の場合



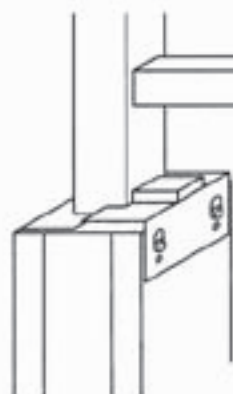
壁との隙間が8mmを超える場合





## 9-1 化粧鏡の取付け（据付け）

●昇降装置が上端まで上がっている状態で化粧鏡をのせてください。

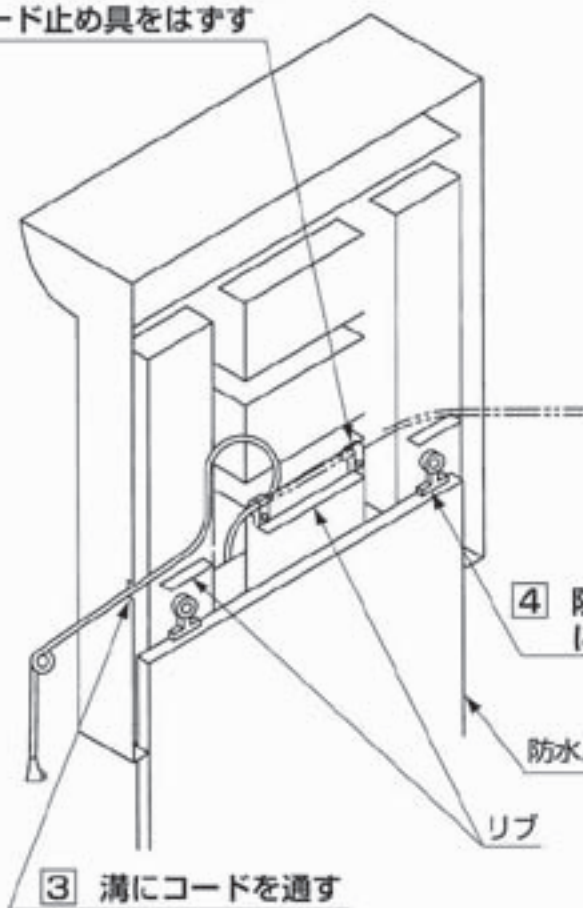


① 昇降装置が上がっているか確認



取付穴が上に出る

② コードを右側に出す時は  
コード止め具をはずす



③ 溝にコードを通す

コードはリブの上を通す

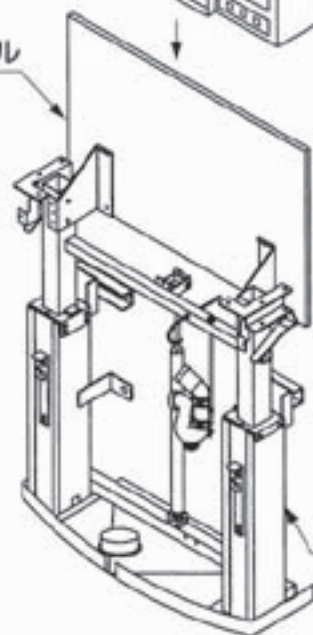
④ 防水パネル  
にのせる

防水パネル

リブ



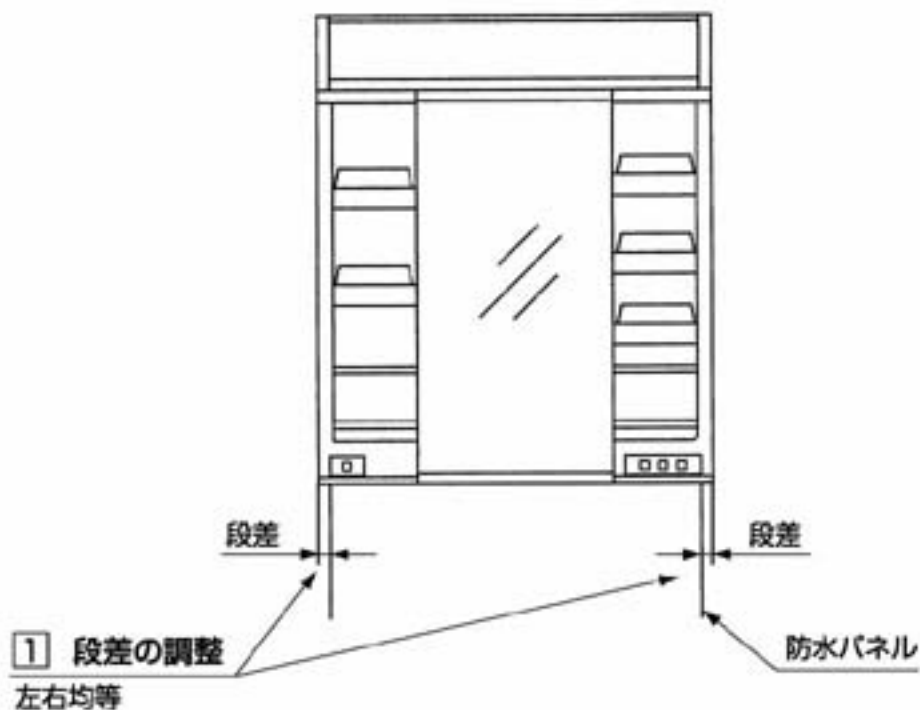
防水パネル



昇降装置

※直結配線の場合は、P19・20を参照ください。

## 9-2 化粧鏡の取付け（壁固定）



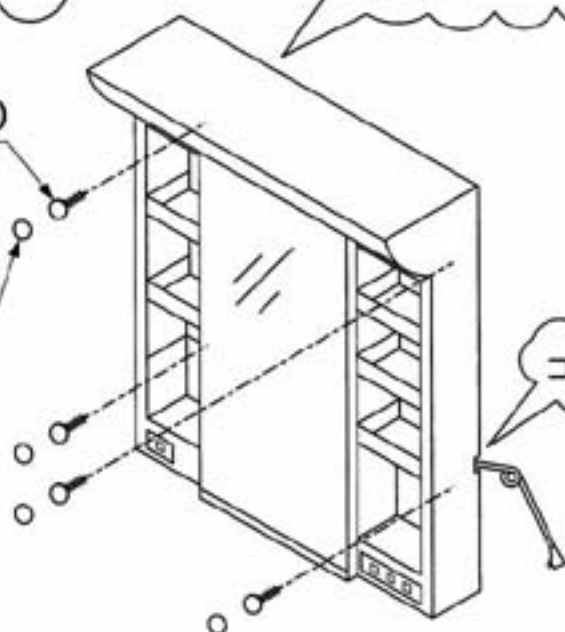
タイル・コンクリート壁の場合は、  
現物に合わせて木ねじ位置に下穴を  
あけ、木ねじ用プラグを打込んでお  
いてください。

取付壁面がゆがんでいる場合は、  
鏡がゆがむことがありますので、  
化粧鏡の裏面に当て木をしてく  
ださい。

**2 壁固定（4か所）**  
木ねじ（ $\phi 4.5 \times 50$ ）

- 所定の固定穴を使用
- 電源コードと接触しない

**3 化粧キャップの  
取付け（4か所）**

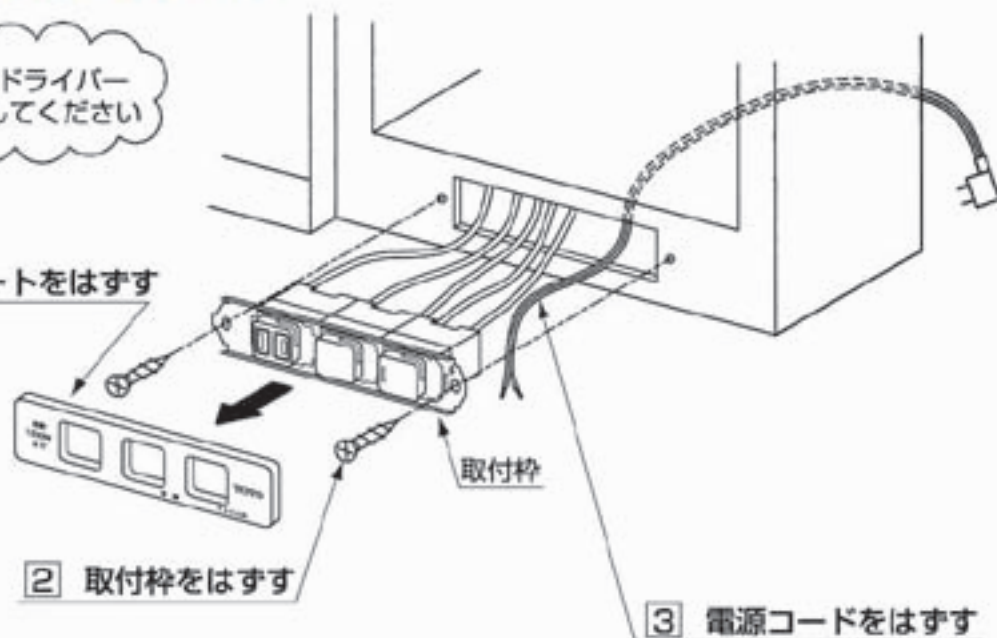


### 9-3 化粧鏡の取付け（直結配線の場合）

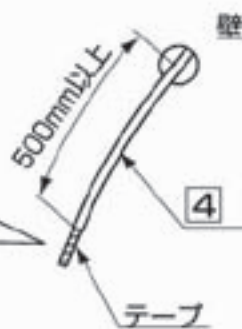
※必ず電気工事業者にご依頼ください。

側面切欠き部に⊖ドライバーを差し込み、はずしてください

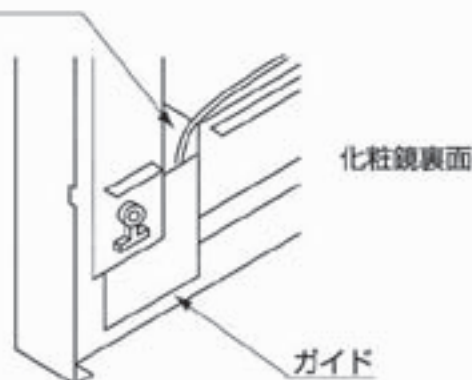
① コンセントプレートをはずす



ケーブルを通しやすくするためにテープを巻いてください

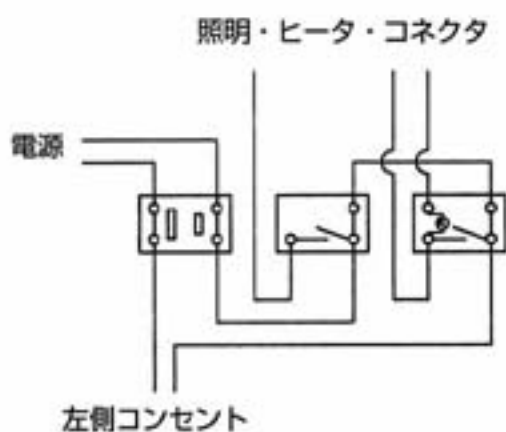
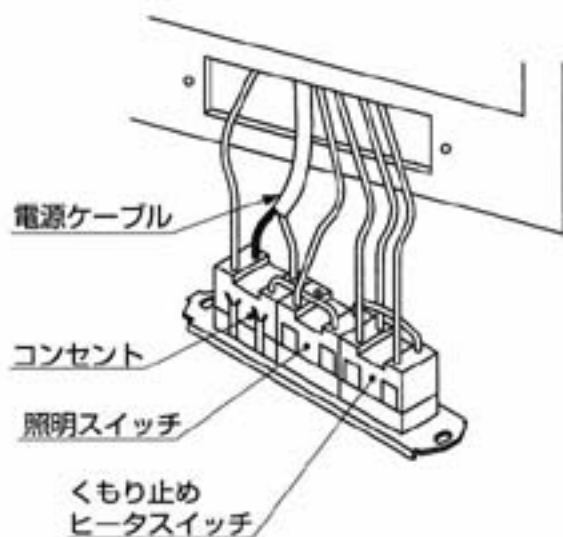


⑤ ガイドに電源ケーブルを通し鏡前面に引出す

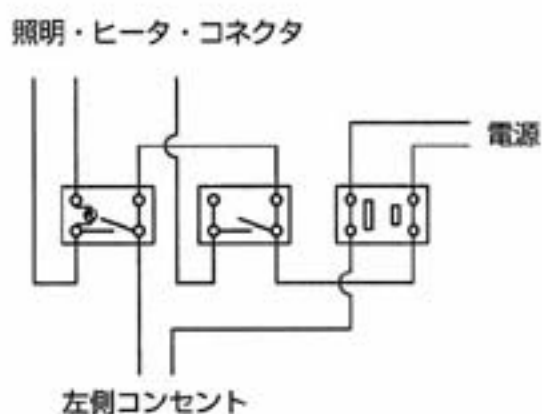
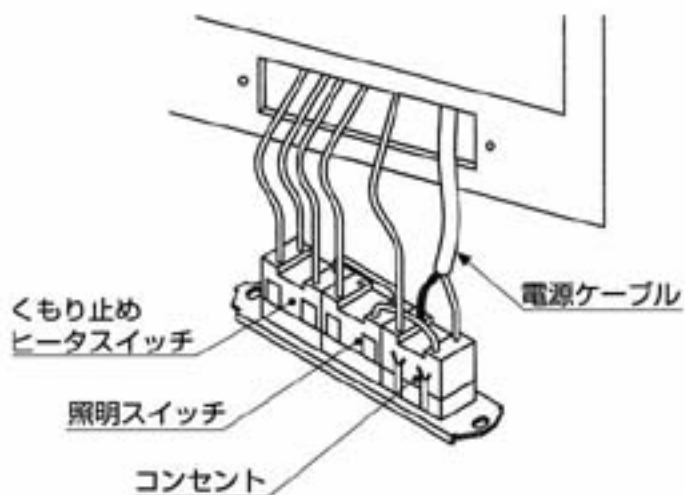


### 9-3 化粧鏡の取付け（直結配線の場合）

#### ●一面鏡の場合



#### ●三面鏡の場合



●取付枠・コンセントプレートを取付けてください。

## 9-4 化粧鏡の取付け（周波数の切替え）

### 1 照明カバーの着脱

#### 照明カバーの着脱方法

●はずしかた



- ①カバーを手前に回転させながら
- ②斜め上に引き抜いてください

●取付けかた



- ①カバーを左右のツメに差し込み、
- ②手前に回転させながらガチッと音がするまでツメに押し込んでください
- ③カバー下部を本体の溝に差し込んでください

### 2 スイッチの切替え

スイッチ

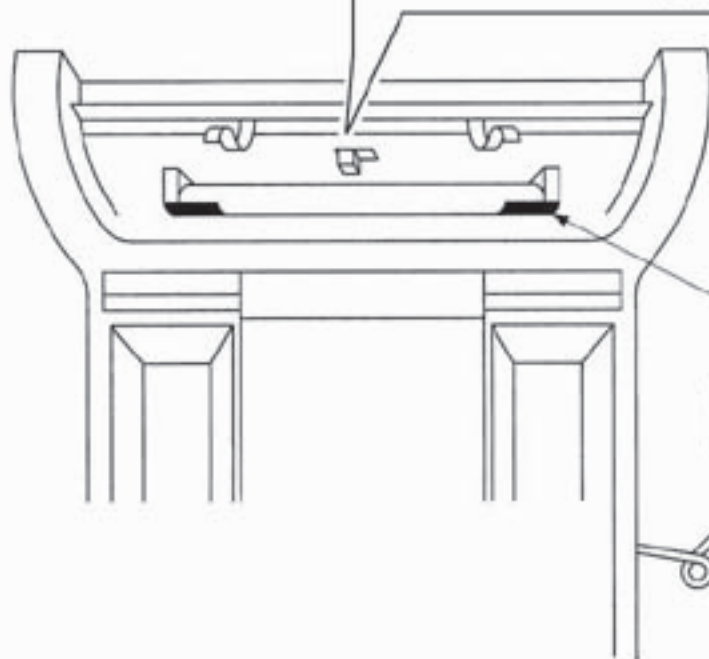


50Hz ↔ 60Hz

60Hz地域でのご使用の場合はスイッチを60Hzに切替える

(切替えはスイッチをスライドさせる。)

※ただし、インバーター式は周波数切替えスイッチはありません。(切替え不要)

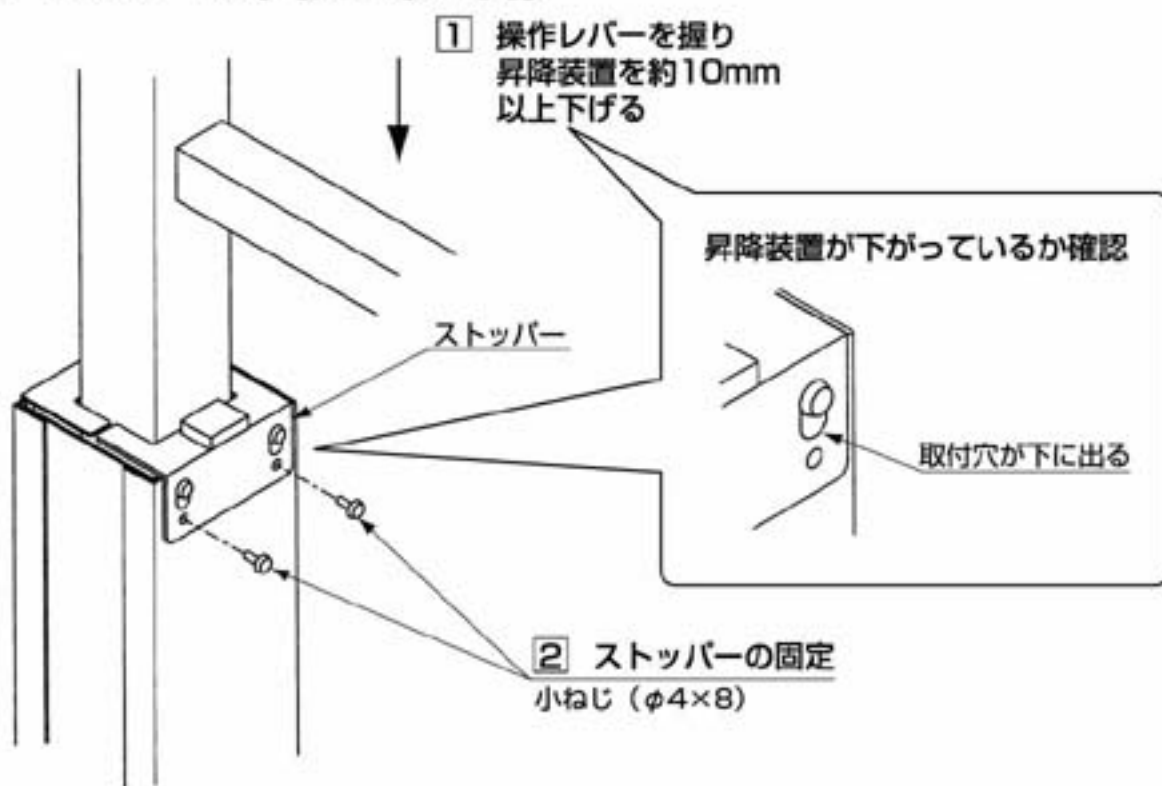


3 左右のテープをはがす

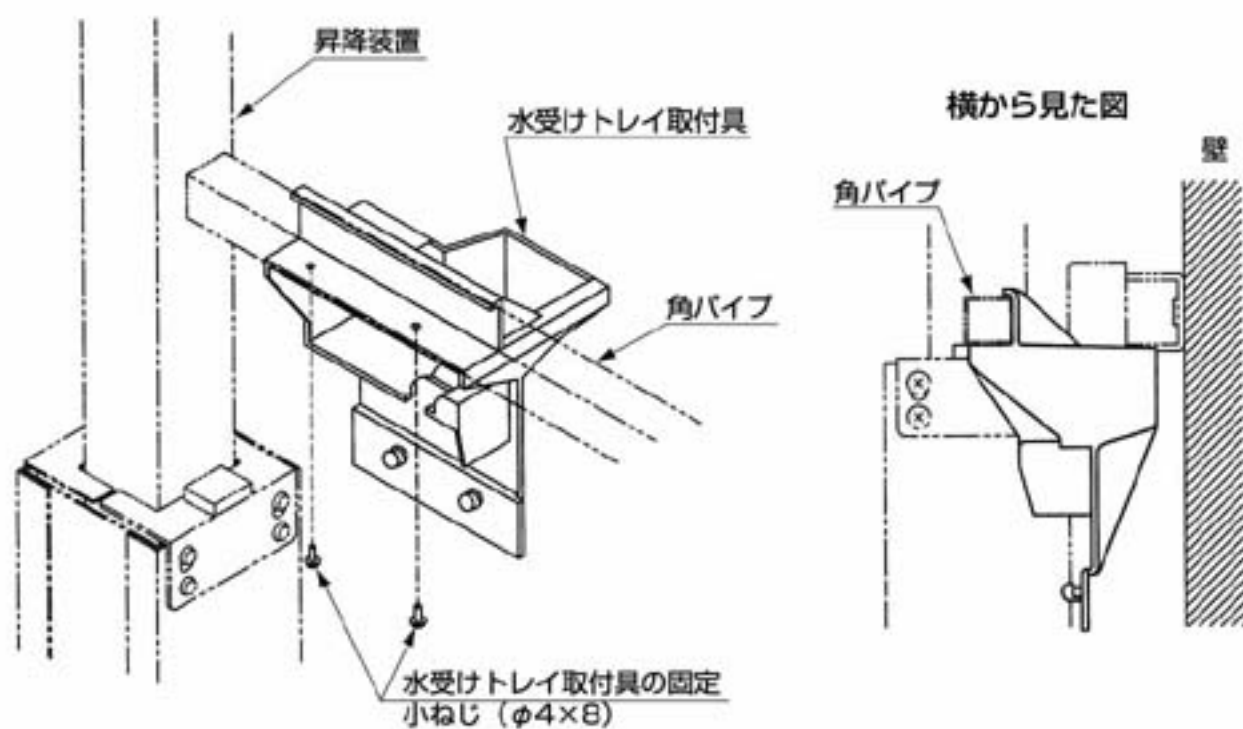
4 極性に注意してコンセントに接続

コードを束ねたまま接続しない。

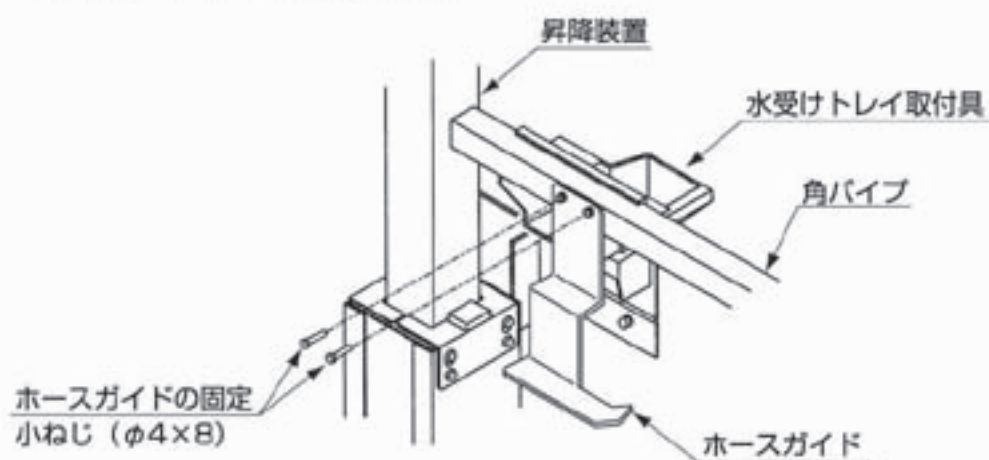
## ⑩ ストッパーの固定 (左右)



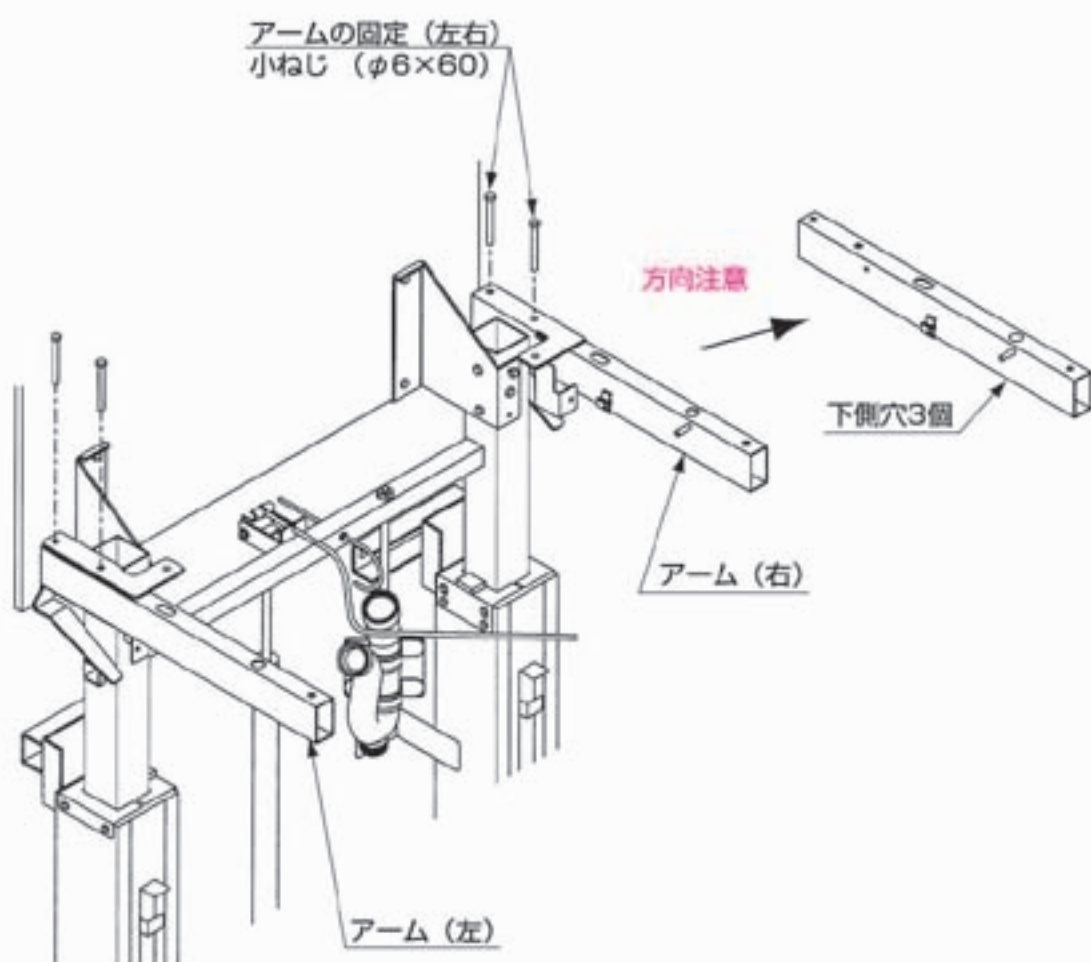
## ⑪ 水受けトレイ取付具の取付け



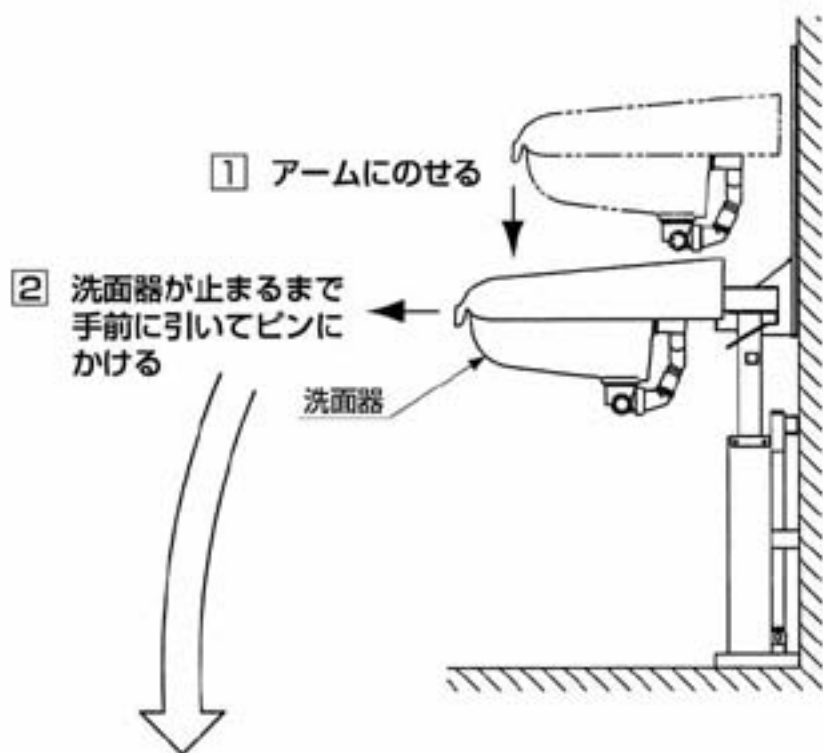
## ⑫ ホースガイドの取付け



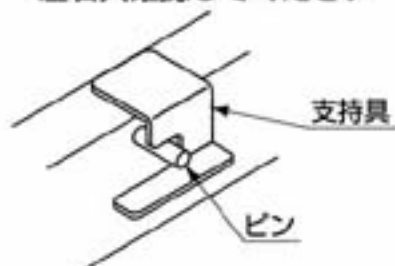
## ⑬ アームの取付け



## ⑭洗面器の仮置き



左右共確認してください



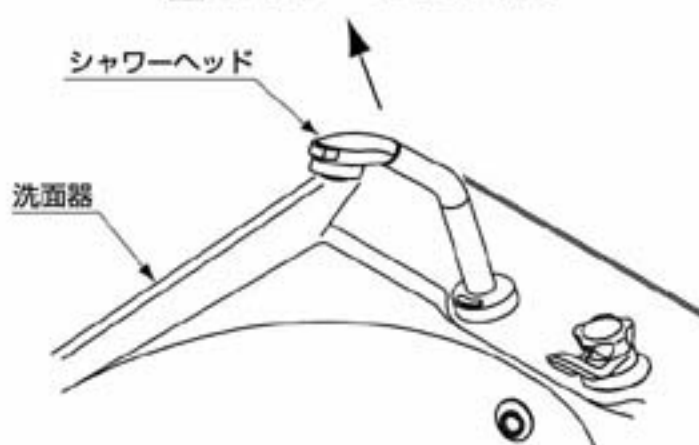


## 15-1 水栓金具の取付け

●水栓金具に付属の施工説明書にしたがい、取付けてください。

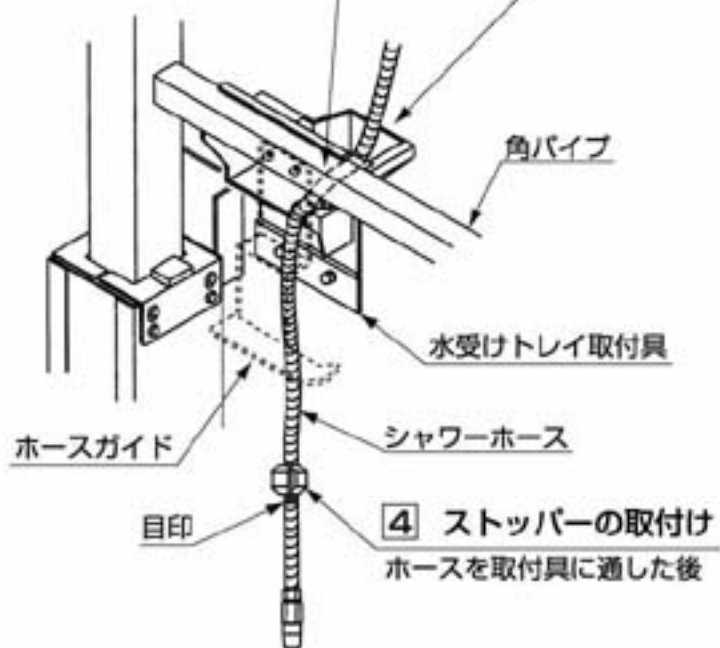
## 15-2 水栓金具の取付け (ストッパーの取付け)

① シャワーヘッドを上げる



② 角パイプの後から通す

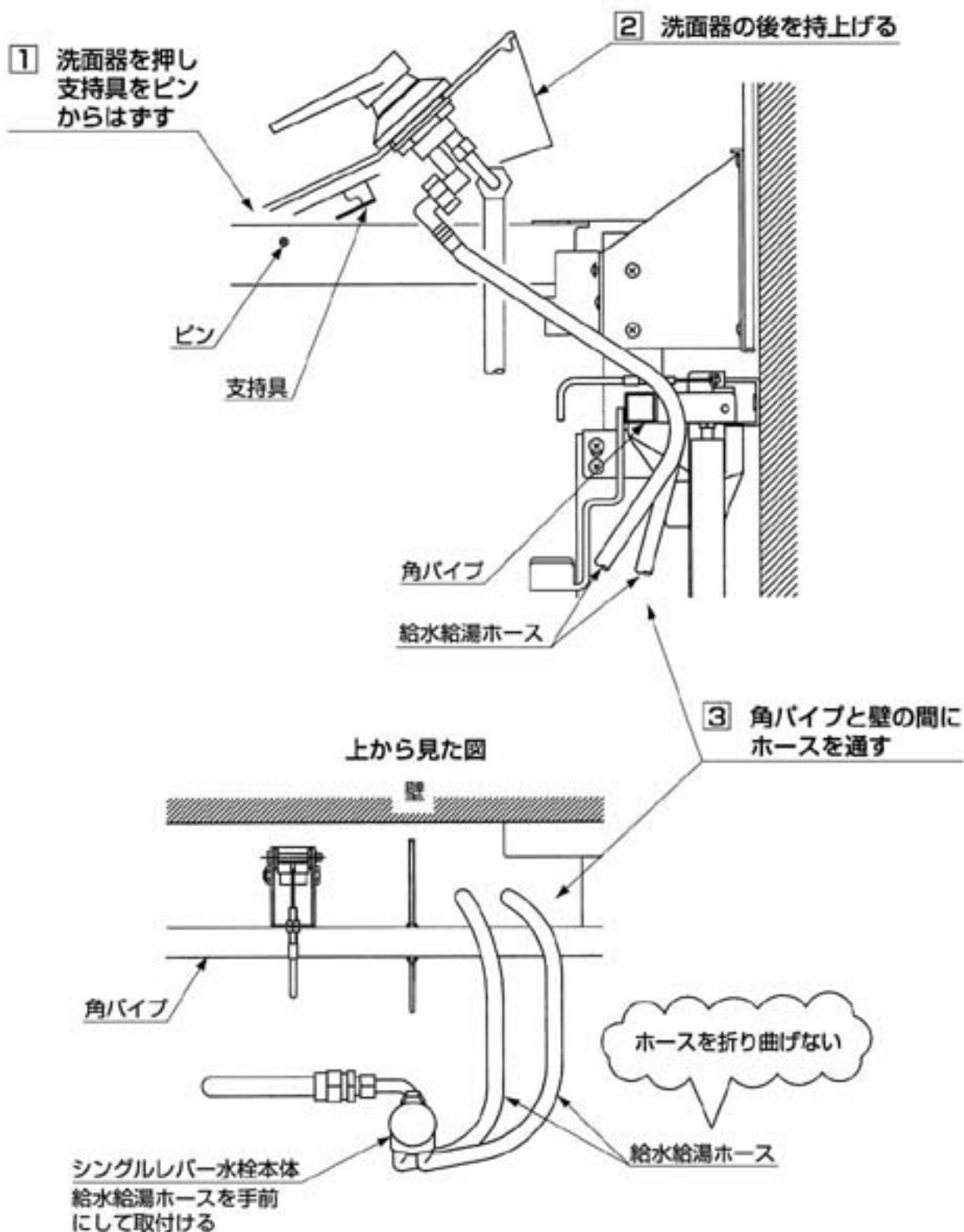
③ シャワーホースを  
切欠部に差し込む



### 15-3 水栓金具の取付け（ホースの取廻し）

- シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。  
必ず、下図の位置に施工してください。

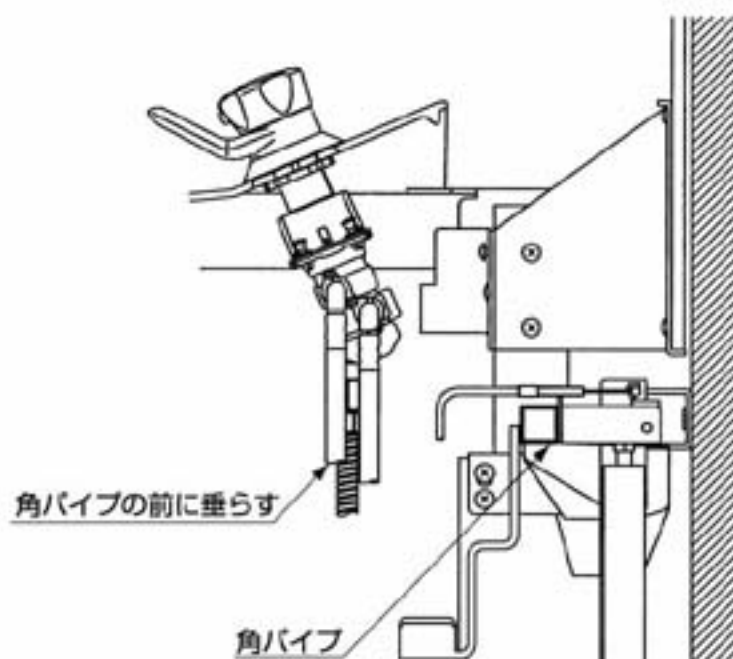
〈シングルレバー水栓の場合〉



### 15-3 水栓金具の取付け（ホースの取廻し）

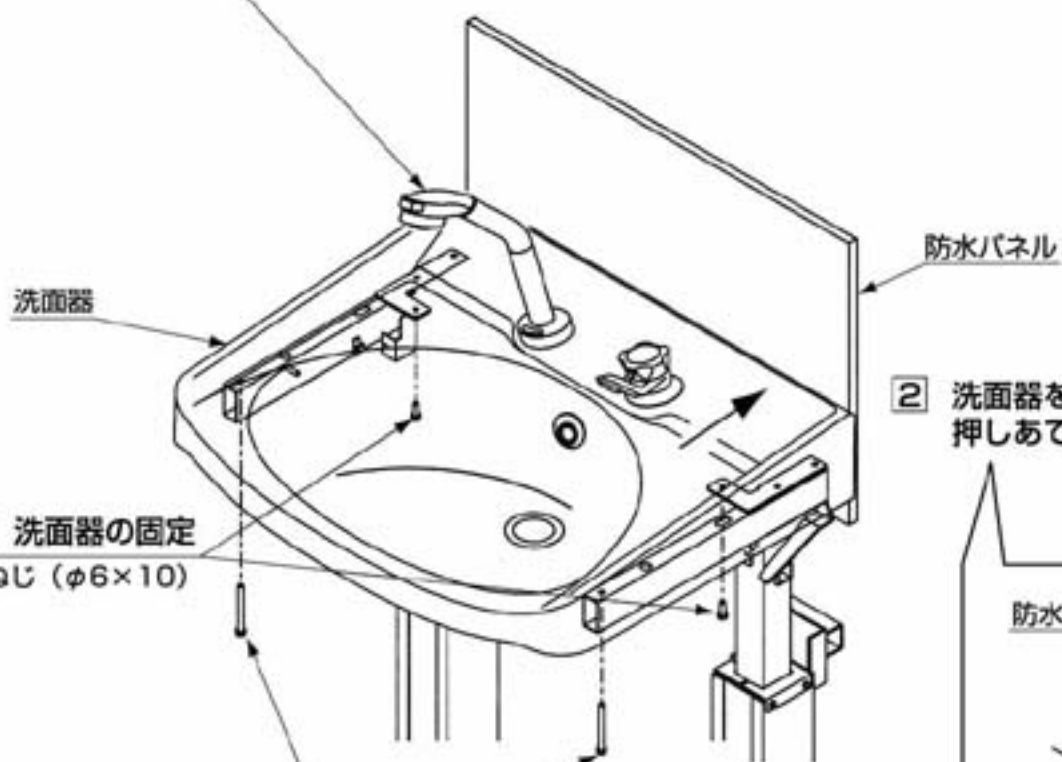
- シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。  
必ず、下図の位置に施工してください。

〈サーモ水栓の場合〉



## ⑩洗面器の固定

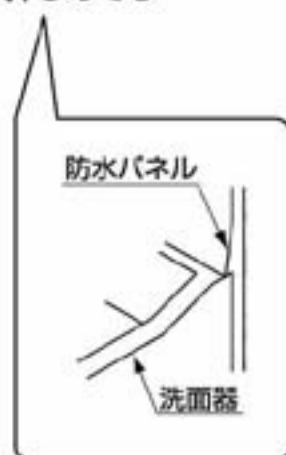
- ① シャワーが最上端まで上がっていることを確認



- ② 洗面器を防水パネルに押しあてる

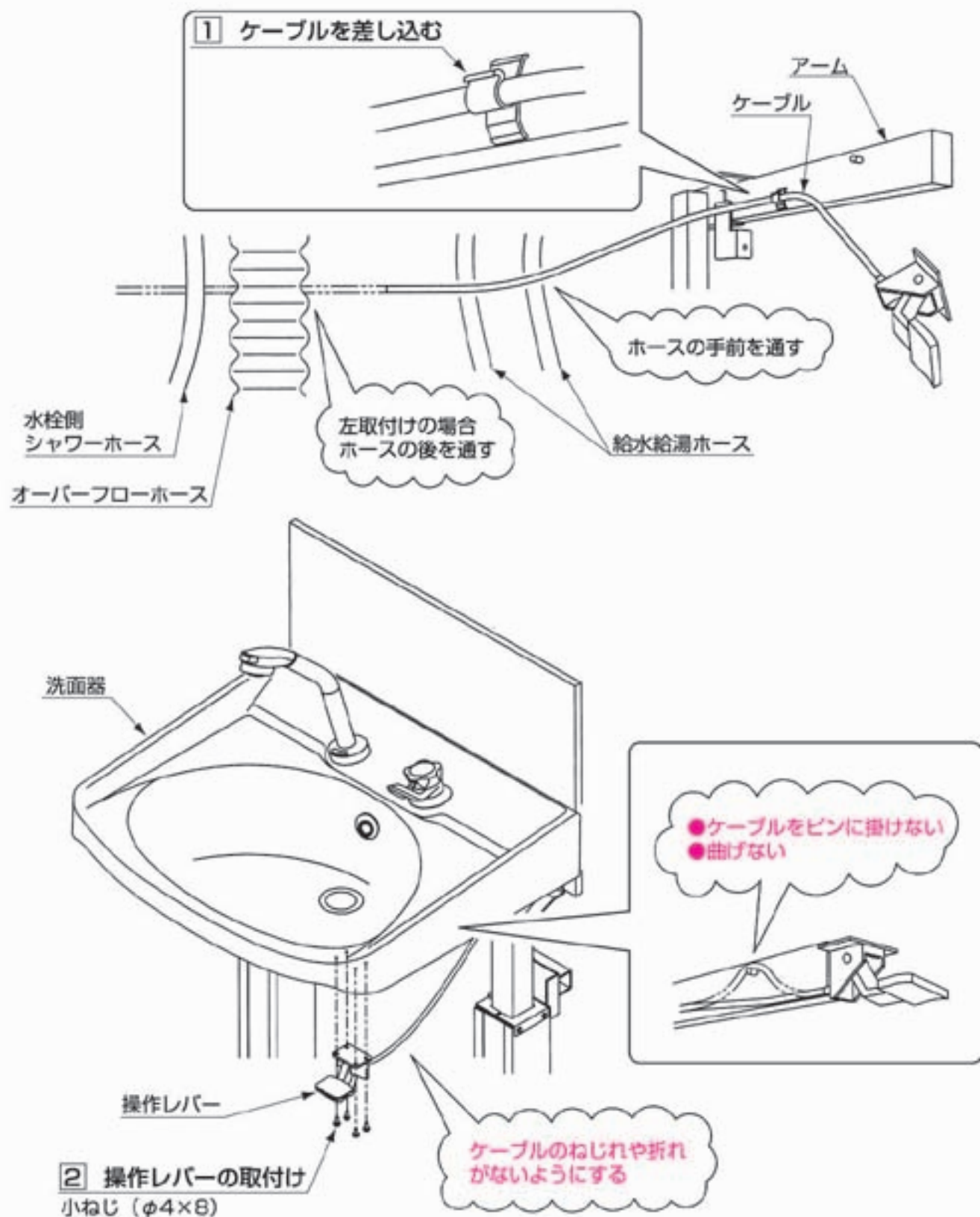
- ③ 洗面器の固定  
小ねじ (φ6×10)

- ④ 洗面器の固定  
小ねじ (φ6×60)



## ⑰ 操作レバーの取付け

- お客様に確認した使用方向（左右）に取付けてください。
- 本図は右取付けの場合を示します。



## ⑱ 操作レバーの調整

- 取付完了後、レバー操作により洗面器が任意の位置で停止できることを、確認してください。停止できない場合は、次の要領で調整を行ってください。

### 〔1〕洗面器が任意の位置で停止できない場合

ワイヤーが張りすぎている為、ガススプリングのロックが出来ない状態になっていますので、以下の調整を行ってください。（ワイヤーに緩みをあたえます。）

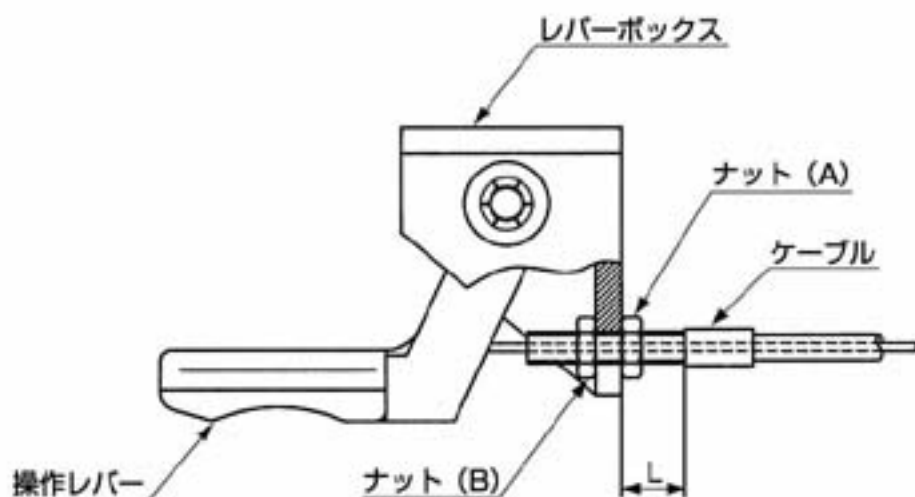
ナット (A) をゆるめ、L寸法を1~2mm 縮めナット (B) を固定してください。

### 〔2〕操作レバー上面が洗面器に干渉している場合

ワイヤーあそびが大きすぎる為、ガススプリングのロックが解除出来ない状態になっていますので、以下の調整を行ってください。（ワイヤーに張りをあたえます。）

ナット (B) をゆるめ、L寸法を1~2mm 広げナット (A) を固定してください。

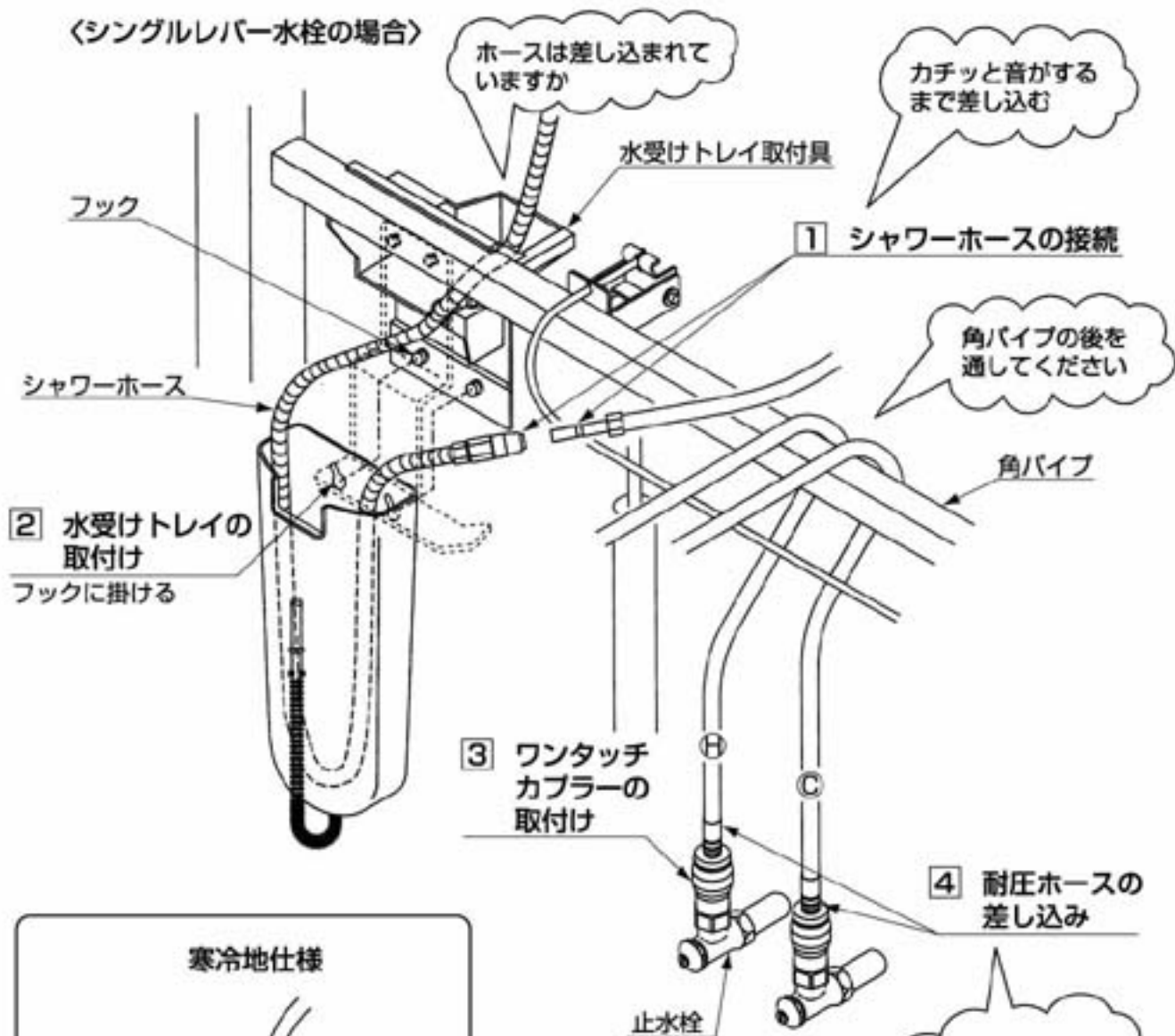
操作レバー部右側面図



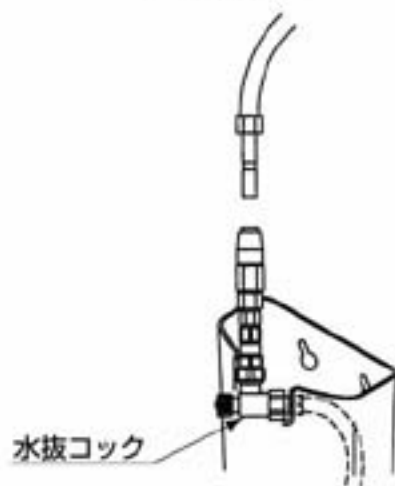
## 19-1 ホースの接続

- シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。  
必ず、下図の位置に施工してください。

〈シングルレバー水栓の場合〉



寒冷地仕様

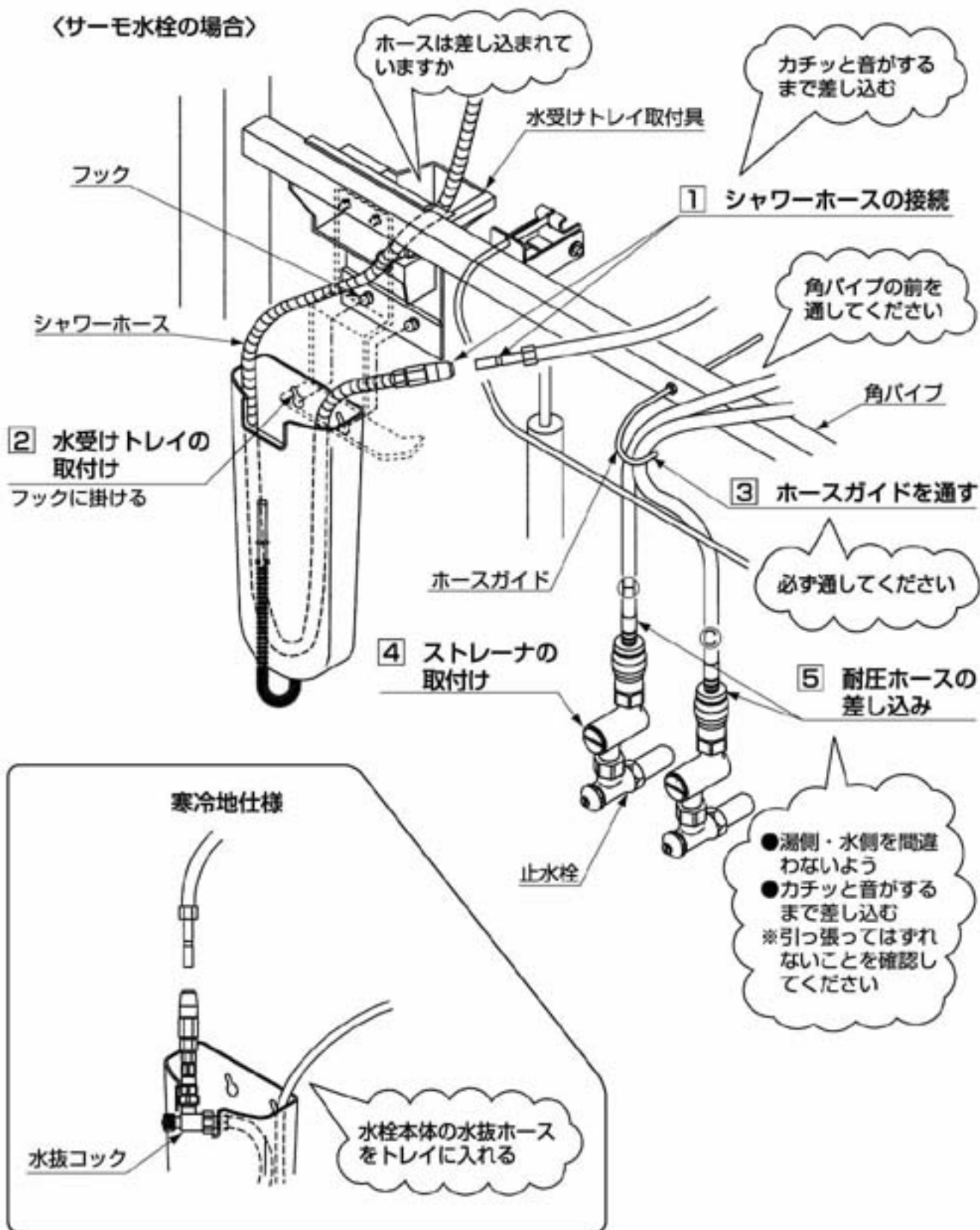


- 漏側・水側を間違わないよう
- カチッと音がするまで差し込む
- ※引っ張ってはすれないことを確認してください

## 19-2 ホースの接続

- シングルレバー水栓とサーモ水栓の場合で、給水給湯ホースの経路が異なります。  
必ず、下図の位置に施工してください。

〈サーモ水栓の場合〉

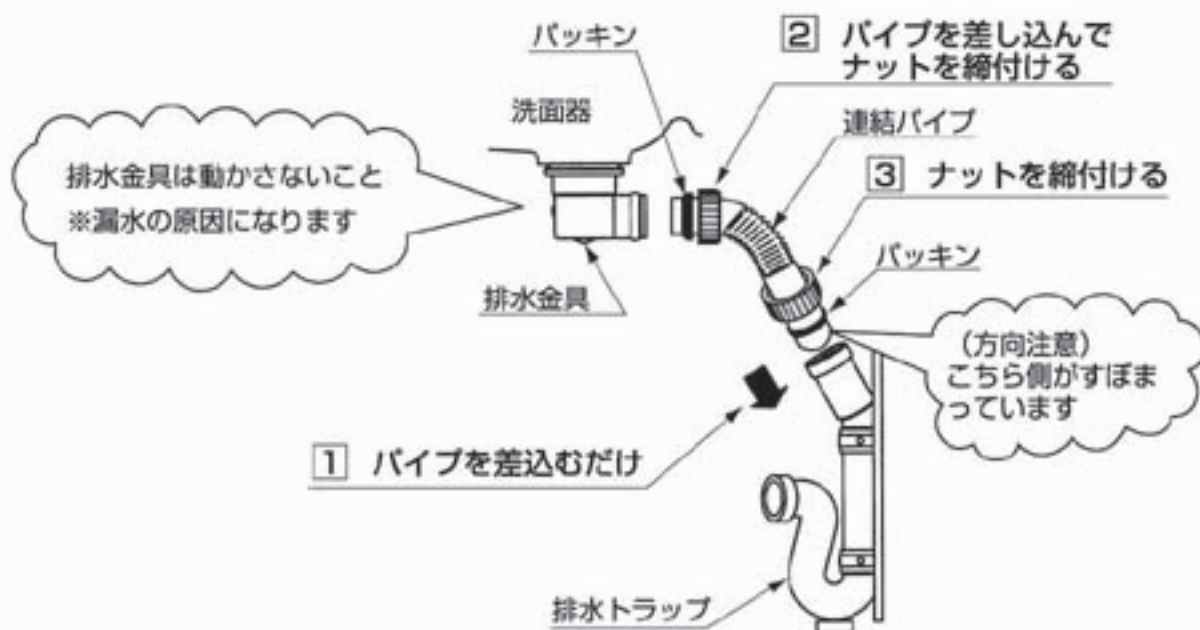




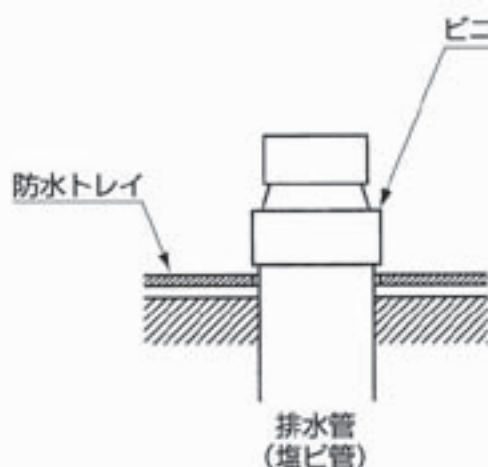
## ②⑩ 連結パイプの取付け

●ナットは手で確実に締付けてください。  
(工具は使用しないでください)

- ① 排水トラップに連結パイプを差し込んでください。
- ② 洗面器側のナットは、必ず排水金具を手でおさえて締付けてください。
- ③ 排水トラップ側のナットを締付けてください。



## ②⑪ ビニル管継手の取付け



洗面器の昇降により排水ホースに力が加わりますので確実に接着固定してください。

※漏水の原因になります

### ビニル管継手

排水管サイズ	呼 び
VU40・VP40	ソケット40
VU50・VP50	インクリーザ50×40

## ② 排水パイプの取付け

洗面器の昇降により排水ホースに力が加わりますので確実に接着固定してください。

※漏水の原因になります

### ① 排水配管用アダプタの接着

ビニル管継手

防水トレイ

排水管  
(塩ビ管)

排水トラップ

バックリン

向きに注意 (下図参照)

仮締め → 位置決め → 本締め

### ③ 排水ホース下側の固定

ナットは上側ナット取付け  
位置決め後工具締めのこと

### ③ 排水ホース上側の固定

ナットは手締めのこと

- ねじれや折れがないように注意
- 水受けトレイと配管カバーの間に納める

※配管カバー (下) をP36の要領で付け、昇降させて水受けトレイや配管カバー、ホースガイドとの当りを確認

水受けトレイと配管カバーの間に納める

水受けトレイ

水抜きホース

ホースガイド

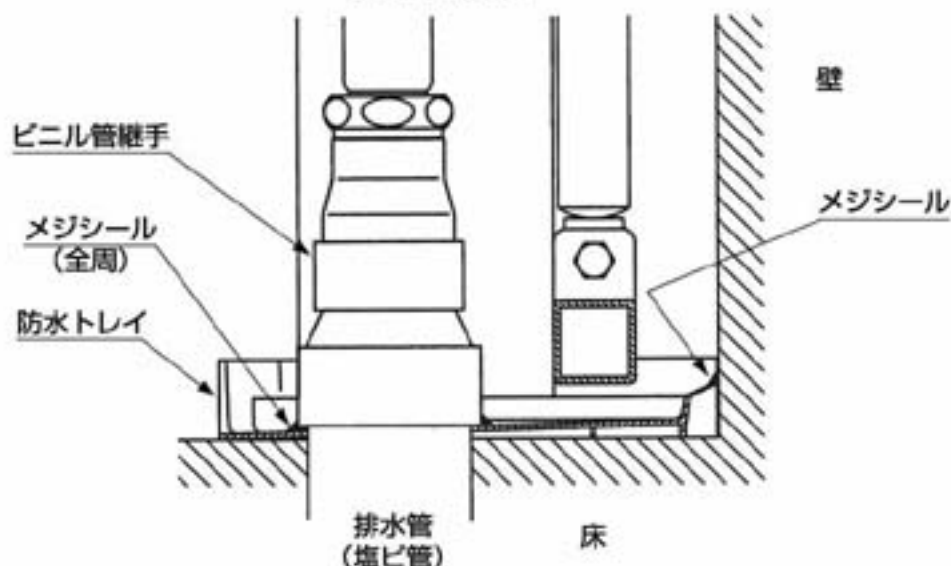
配管カバー (下)

上から見た図

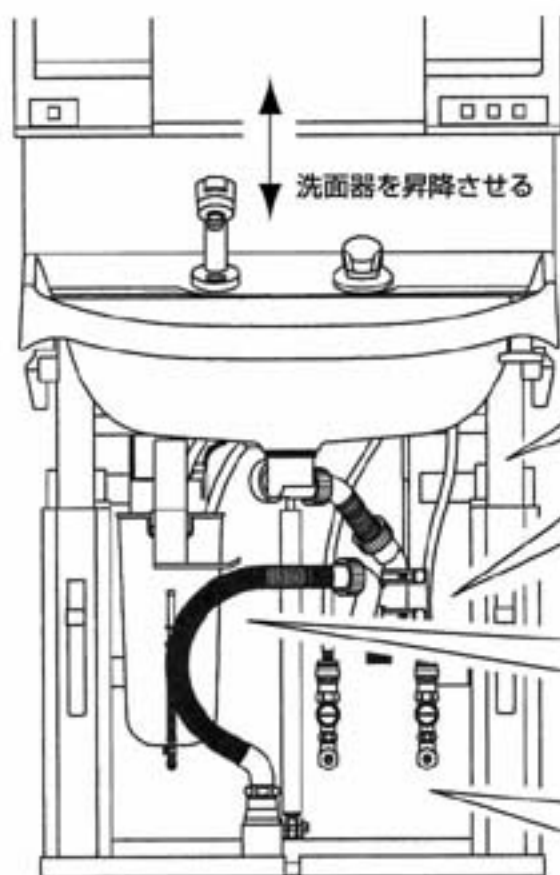
## ②③ 防水トレイの処理

●防水トレイと壁の接触部及び配管用切欠部を、メジシール (YG902S) にてシールしてください。

排水管側面図



## ②④ 確認



昇降させたとき防水パネルが壁や化粧鏡とあたっていませんか。

※あたっている場合は「⑥防水パネルと壁の隙間調整」を参照して調整してください。

壁に確実に固定されていますか

- ホースの取出位置はありますか
- ホースの取廻しはありますか
- 昇降させたときホースの折れはありませんか

- 洗面器を一番下げた状態で排水ホースが逆勾配になっていませんか

昇降させたとき配管接続部より水漏れはありませんか  
(通水確認)

## ②5 寒冷地タイプの水抜方法

●寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。

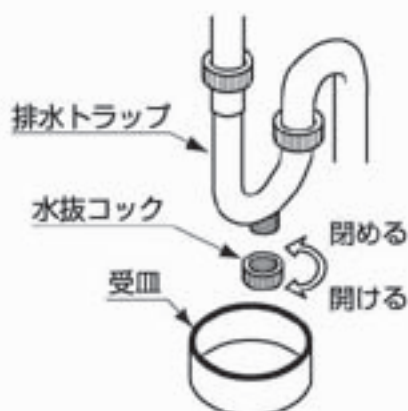
凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜手順〉

(1) 水栓金具の水抜方法については、水栓金具に付属の施工説明書をご参照ください。

(2) 排水トラップの水抜コックを開く。

※水抜き後は、必ず水抜コックを確実に締めてください。



## ②6 周辺キャビネットの設置

●取付基準面と反対側に周辺キャビネットが設置される場合は、配管カバーを取付ける前に「③位置決スペーサーの取付け」を参照し、周辺キャビネットを先に設置してください。

## ②7 配管カバーの取付け

●位置決スペーサーをはずしてください。

### ② 配管カバー（下）の取付け

（化粧ねじ2本で固定）

化粧ねじ

ガイドにのせる

### ③ 配管カバー（上）の取付け

（化粧ねじ2本で固定）

① 上端まで上げる

ガイド

幅木がある場合は鋸等でカット



正面から見た図

## ☆ウォールキャビネットの取付け

(別売品のウォールキャビネットを取付ける場合は、この方法にしたがってください。)

壁がゆがんでいると、キャビネット本体がゆがんで取付きますので、当て木を入れて垂直に固定してください。

水平方向・垂直方向の位置合わせをする。

### 1 位置合わせ

棚ダボ用穴

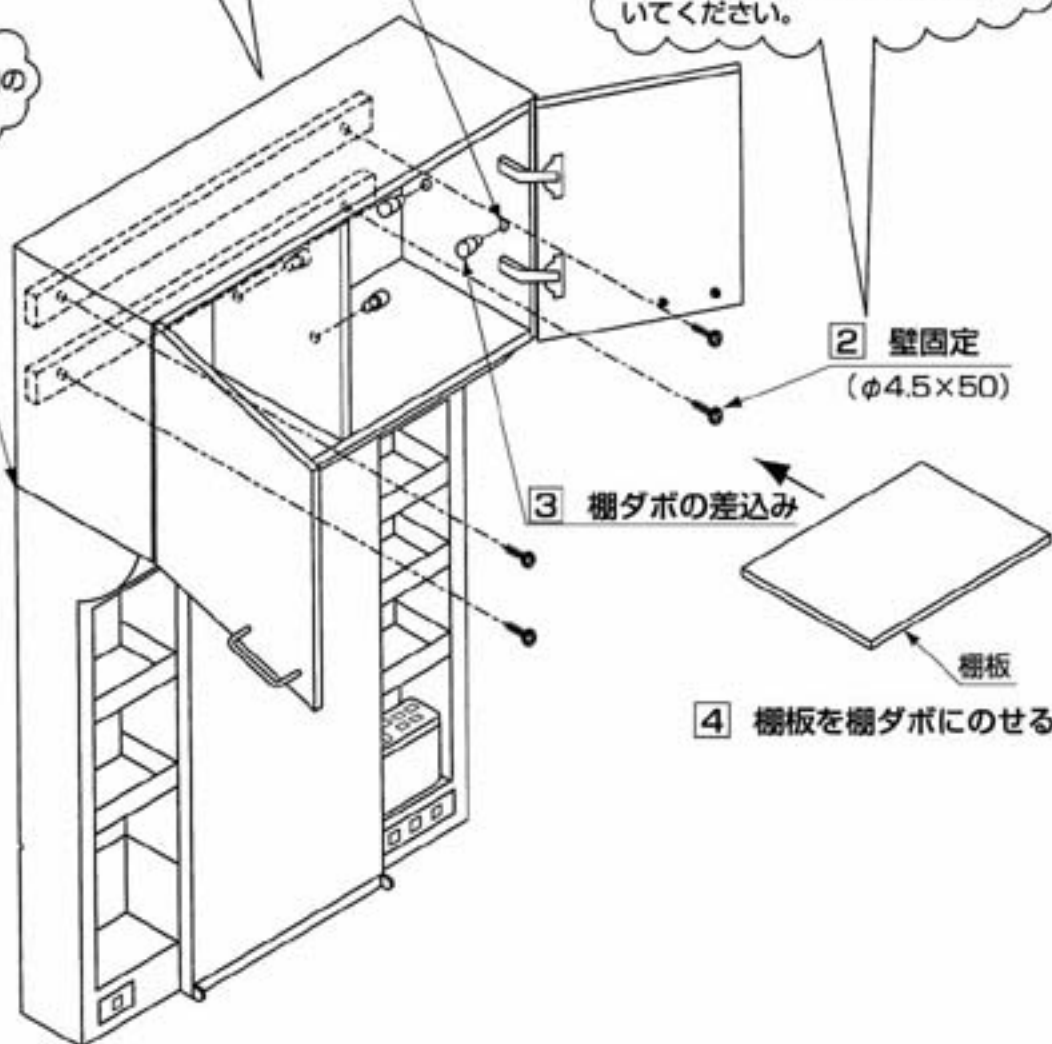
タイル・コンクリート壁の場合は、現物に合わせて木ねじ位置に下穴をあけ、木ねじ用プラグを打込んでおいてください。

### 2 壁固定 ( $\phi 4.5 \times 50$ )

### 3 棚ダボの差込み

棚板

### 4 棚板を棚ダボにのせる



# 取付完了後の確認と清掃

- 洗面器の昇降に異常がないか確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- ウォールキャビネットが確実に固定されていることを確認してください。
- 3面鏡の場合は袖鏡が確実に閉まるか確認してください。  
閉まらない場合は、下図のようにキャッチの高さを調整してください。
- 照明スイッチを押して蛍光灯が点灯することを確認してください。
- くもり止めヒータスイッチを入れて、スイッチ内のランプが点灯することを確認してください。
- コンセントに電気カミソリなどを差し込み、通電するか確認してください。
- 設置後、長期間使用されない場合は差込みプラグを抜いてください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。  
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからふきしてください。  
**シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。**
- ガススプリングの清掃については、付着したゴミ、ホコリを払い落とし、からふきしてください。  
ガススプリング本体とロッドにゴミ、ホコリ等が付着したまま拭きますと、ロッドに傷が付き故障の原因となりますので、十分ご注意ください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。

